

クラブ活動計画書

平成 15 年 7 月

2003~2004年度



RI 第2780地区

大和中ロータリークラブ

会長 長野 俊八 幹事 蒔田 誠三郎

2003～2004年度

クラブ活動計画書

平成15年7月

2003～2004年度 国際ロータリーテーマ



「Lend a hand」 手を貸そう

RI会長 ジョナサン B. マジィアベ

第2780地区 中西 功 ガバナー 方針

ロータリーは100年近くを経過し、会員の価値観が変化してきており、ロータリーが大きく変わろうとしている。近年のロータリーは沈滞、無気力そして衰退の傾向にある。これを寛容の精神で打開しよう。

大和中ロータリークラブ 長野俊八 会長ターゲット

“信頼・親睦、そしてロータリーの仲間”

大和中ロータリークラブ

会 長 長野 俊八

幹 事 蒔田 誠三郎

事務局 大和市中心2丁目5番2号
大和グランドホテル702号室

例会場 大和グランドホテル7F

T E L 046-262-1717

T E L 046-262-1112

F A X 046-262-1818

F A X 046-261-9888

E-mail naka-rc@sweet.ocn.ne.jp

2003～2004年度

クラブ活動計画書

目 次

本年度の運営方針	3
会 務 報 告	4～10
大 和 市 略 図	10
会 計	11～13
委員会活動計画	14～35
クラブ奉仕委員会	14
(イ) 出席委員会	14
(ロ) クラブ会報委員会	15
(ハ) 親睦活動委員会	15
(ニ) 雑誌委員会	16
(ホ) プログラム委員会	16
年間プログラム予定表	17～24
(ヘ) 広報委員会	25
(ト) スマイルボックス委員会	25
組織部門	26
(イ) 会員選考委員会	26
(ロ) 会員増強委員会	27
(ハ) 職業分類委員会	27
職業分類一覧表	28～30
(ニ) ロータリー情報委員会	31
会場監督(S A A)	31
職業奉仕委員会	32
社会奉仕委員会	32
(イ) 環境保全委員会	33
国際奉仕委員会	33
(イ) ロータリー財団委員会	34
(ロ) 米山奨学委員会	34
新世代奉仕委員会	35
(別表)	
(1) 役員・理事・委員会一覧表	36
(2) 大和中ロータリークラブ会員名簿	37～40
(3) 歴代会務分担表	41～43
(4) 退会者名簿	45～47
(5) 大和中ロータリークラブ電話連絡網	48
(6) 大和中ロータリークラブ クラブ運営規定集(定款・細則・内規)	49～68

“信頼・親睦、そしてロータリーの仲間”

ロータリーは1905年（明治38年）2月23日にアメリカ合衆国イリノイ州シカゴの一青年弁護士であったポール・ハリスが始めた運動であり、2005年は記念すべき100年祭にあたります。

ロータリーの役員構成は一年交替で、健康上の理由以外は断れないという不文律がロータリーに新鮮な空気を送り込み、これがロータリーの発展に大きく寄与しています。

本年度R I会長ジョナサンB.マジリアベ氏のテーマ「手を貸そう」はロータリアンにとって単純かつ自然な行動を表現しています。

大和中ロータリークラブは創立25年を経過しましたが、一通過点に過ぎません。30年、40年に向かって確実に進んでおります。

日本経済は株の低迷、デフレ不況と不透明な状況であります。この様な時こそ、ロータリーは信頼を基に相互理解と相手の立場に立った寛容の心で対処する事が必要ではないでしょうか。

今年度は、国際大会が大阪で開催されます。日本で3回目のこのチャンスに一人でも多くの方が国際大会の雰囲気味わってほしいと思います。参加することによって、信頼・親睦、そしてロータリーの仲間が増える事を期待します。

幹 事 蒔 田 誠三郎

会長ターゲット「信頼・親睦、そしてロータリーの仲間」のもと、各委員会とのコミュニケーションを密にし、楽しいクラブ、魅力あるロータリーライフの構築に努力します。

そして、クラブ行事の案内、各種報告、記録の整理、保管等、幹事としての職務を誠実に遂行します。

会 務 報 告

幹 事 蒔 田 誠三郎

1. クラブの沿革

創 立 総 会 昭和53年 5 月 9 日 (1978年) 於大和市商工会館三階
 R. I. 承 認 昭和53年 6 月23日 (1978年)
 チャーターナイト 昭和54年 4 月22日 (1979年) 於厚木基地
 (認証状伝達式)
 スポンサークラブ 大和ロータリークラブ
 特 別 代 表 星 幸 男 氏
 ガ バ ナ ー 細 谷 実 氏
 チャーターメンバー 23名
 (創 立 会 員)
 所 在 地 域 大和市 (別紙)
 事 務 所 大和市中心 2 丁目 5 番 2 号 大和グランドホテル702号室
 電 話 046(262)1717 FAX 046(262)1818
 例 会 場
 ・昭和53年 5 月 9 日～昭和56年 6 月30日
 大和市商工会館 3 階会議室
 ・昭和56年 7 月 1 日～昭和63年 4 月30日
 (旧) 八千代信用金庫大和支店 4 階会議室
 ・昭和63年 5 月12日～
 大和グランドホテル 7 階 電 話 046(262)1112
 例 会 日 毎週木曜日

2. 会員の種類

正 会 員 49名
 名 誉 会 員 0 名

3. 区域内人口、会員数、出席率、ビジター及びゲスト数、入会金、年会費一覧表

年 度	人 口 (人)	会 員 数 (年度始め)	平均出席率	ビジター及 びゲスト数	入 会 金	年 会 費
昭和53年	159,718	23名	100%	(含仮クラブ) 80名	100,000円	168,000円
53～54年	159,963	22名	99.76%	484名	100,000円	168,000円
54～55年	164,748	28名	98.12%	496名	100,000円	168,000円
55～56年	167,318	30名	98.59%	532名	100,000円	168,000円
56～57年	169,530	40名	99.96%	519名	100,000円	168,000円
57～58年	171,440	42名	99.1 %	519名	100,000円	168,000円
58～59年	173,338	49名	99.27%	548名	100,000円	168,000円
59～60年	174,497	45名	99.74%	656名	100,000円	168,000円
60～61年	176,953	55名	99.23%	634名	100,000円	168,000円
61～62年	179,941	50名	99.48%	585名	100,000円	168,000円
62～63年	183,303	51名	100 %	675名	100,000円	168,000円
63～平成1年	187,564	59名	100 %	651名	100,000円	200,000円
平成1～2年	191,148	60名	99.92%	641名	100,000円	200,000円
2～3年	194,696	63名	99.97%	612名	100,000円	230,000円
3～4年	197,570	60名	99.83%	619名	100,000円	230,000円
4～5年	200,960	60名	99.61%	675名	150,000円	230,000円
5～6年	202,169	60名	99.35%	570名	150,000円	250,000円
6～7年	203,451	59名	99.48%	534名	150,000円	250,000円
7～8年	205,452	58名	99.40%	571名	150,000円	250,000円
8～9年	206,165	60名	97.46%	455名	150,000円	250,000円
9～10年	207,576	61名	96.42%	401名	150,000円	250,000円
10～11年	208,640	56名	94.04%	445名	150,000円	250,000円
11～12年	210,734	59名	94.22%	452名	150,000円	250,000円
12～13年	212,921	54名	96.69%	411名	150,000円	250,000円
13～14年	214,573	53名	97.60%	343名	150,000円	250,000円
14～15年	216,463	51名		346名	150,000円	250,000円
15～16年	218,352	49名			100,000円	250,000円

4. 年度別クラブ会員入退会者数一覧表

年 度	会 長 名	入会者数	退会者数	増減数	年度末会員数
昭和53年 (1978)	矢野久元	0	1	- 1	22
53～54年 (1978～1979)	矢野久元 蜂屋良平	13	7	+ 6	28
54～55年 (1979～1980)	芦田敬治	3	1	+ 2	30
55～56年 (1980～1981)	亀谷志郎	12	2	+10	40
56～57年 (1981～1982)	伊藤正男	5	3	+ 2	42
57～58年 (1982～1983)	寺田五六	12	5	+ 7	49
58～59年 (1983～1984)	長谷川清一	3	7	- 4	45
59～60年 (1984～1985)	猪熊唯夫	13	3	+10	55
60～61年 (1985～1986)	上田利久	2	7	- 5	50
61～62年 (1986～1987)	藤田重成	5	4	+ 1	51
62～63年 (1987～1988)	富澤重徳	11	3	+ 8	59
63～平成1年 (1988～1989)	石渡英二郎	4	3	+ 1	60
平成1～2年 (1989～1990)	北砂富三	7	4	+ 3	63
2～3年 (1990～1991)	有澤昭二	2	5	- 3	60
3～4年 (1991～1992)	松本忠明	3	3	0	60
4～5年 (1992～1993)	辻國明	4	4	0	60
5～6年 (1993～1994)	伊藤英夫	2	3	- 1	59
6～7年 (1994～1995)	古木勝治	3	4	- 1	58
7～8年 (1995～1996)	高橋政勝	4	2	+ 2	60
8～9年 (1996～1997)	土屋翁三	3	2	+ 1	61
9～10年 (1997～1998)	後藤定毅	2	7	- 5	56
10～11年 (1998～1999)	橋本健彦	3	0	+ 3	59
11～12年 (1999～2000)	中西功	2	7	- 5	54
12～13年 (2000～2001)	近藤富士男	2	3	- 1	53
13～14年 (2001～2002)	鈴木久次郎	5	7	- 2	51
14～15年 (2002～2003)	前原一男	3	5	- 2	49
15～16年 (2003～2004)	長野俊八				

5. 会員状況

a) 会員名簿一覧表 (別表(2))

b) 会員年齢構成 (15年7月1日現在)

40才台	4名	} 計 49名	最 高 齢	82才
50才台	20名		最 年 少	43才
60才台	15名		平 均	61.15才
70才台	8名			
80才台	2名			

c) クラブ在籍年数 (15年7月1日現在)

1年未満	3名	9年以上	1名	18年以上	3名
1年以上	5名	10年以上	2名	19年以上	0名
2年以上	2名	11年以上	0名	20年以上	4名
3年以上	1名	12年以上	1名	21年以上	2名
4年以上	2名	13年以上	3名	22年以上	2名
5年以上	1名	14年以上	1名	23年以上	1名
6年以上	0名	15年以上	2名	24年以上	2名
7年以上	2名	16年以上	3名	25年以上	6名
8年以上	0名	17年以上	0名		
				計	49名

d) 100%出席会員数 (15年7月1日現在)

25年間	1名	松本
22年間	3名	中西、後藤、藤田
21年間	1名	松崎
20年間	2名	前原、長野
19年間	2名	神作、菊地
18年間	1名	古郡、小林
16年間	2名	藤塚、梅田
15年間	3名	高橋(清)、飯田、石田
13年間	3名	石川、蒲生、椋
12年間	1名	横澤
9年間	1名	山崎
7年間	1名	岸・蒔田
6年間	1名	依田
5年間	1名	長谷川

6. 役員、理事、委員会構成メンバー (別表(1))

7. 理事会・例会・委員会

毎月第二例会後に定例理事会を開催する他、必要に応じて随時開催する。

例会は毎週木曜日午後12時30分より開催するが、時により変更する。

定款第5条第1節(C)により年4回例会を取り止める。

尚、国の定めた祝祭日及び正月三ヶ日は休会とする。

各委員会は、活動打ち合わせのため適時委員会を開催する。

8. クラブ協議会 (クラブアッセンブリー)

- | | | |
|---------|----------------|-------------|
| ① 新年度 | ② ガバナー公式訪問2週間前 | ③ ガバナー公式訪問時 |
| ④ 地区大会後 | ⑤ 12月中 | ⑥ 年度末 |

9. ロータリー財団

○ベネファクター

1	芦田敬治君	2	上田利久君	3	郡司守君	4	長谷川清一君
5	中西功君	6	後藤定毅君	7	辻國明君		

○マルチプルポールハリスフェロー

1	②亀谷志郎君	2	③藤田重成君	3	⑩長谷川清一君	4	松本三郎君
5	⑥芦田敬治君	6	②有澤昭二君	7	二見長幸君	8	②古木勝治君
9	②高橋清君	10	児玉清君	11	③上田利久君	12	郡司守君
13	伊藤英夫君	14	北砂富三君	15	②松本忠明君	16	②松崎正実君
17	②長野俊八君	18	中西功君	19	鈴木久次郎君	20	高橋政勝君
21	土屋翁三君	22	辻國明君	23	②寺田五六君	24	富澤重徳君
25	番桂柳君	26	橋本健彦君	27	石田忠良君	28	②近藤富士男君
29	長谷川清君	30	梅田秀雄君				

○ポールハリスフェロー

1	矢野久元君	2	伊藤正男君	3	布施光雄君	4	細野順造君
5	竹之内弘美君	6	保田達君	7	石渡みよ子夫人	8	猪熊唯夫君
9	後藤定毅君	10	松本千枝夫人	11	佐藤正勝君	12	茅根勉君
13	清水洋三君	14	木村誠二君	15	菊地康公君	16	加藤真義君
17	藤塚勝明君	18	古郡清君	19	神作彰君	20	本田博司君
21	上村幹雄君	22	石渡英二郎君	23	後藤歩さん	24	柿本伊佐男君
25	前原一男君	26	古田土勝美君	27	長谷川清君	28	小林勇君
29	竹原繁男君	30	山崎賢二君	31	館盛道明君	32	梅田秀雄君
33	石川健次君	34	依田儀一君	35	牧野弘君	36	蒔田誠三郎君
37	目黒雄介君	38	小野孝男君	39	村松令隆君	40	横澤創君
41	蒲生文衛君						

○準フェロー

1	三浦泰之君	2	池田武和君	3	小島健一君	4	前原一男君
5	古川巖君	6	神作彰君	7	竹本正俊君	8	千田徹君
9	原田穆君	10	古田土勝美君	11	岩田一夫君	12	梅田秀雄君
13	上村幹雄君	14	飯田豊太君	15	椋茂廣君	16	石川健次君
17	竹原繁男君	18	寺田伍六君	19	横澤創君	20	有澤昭二君
21	中島繁男君	22	石渡英二郎君	23	星輝明君	24	藤田重成君
25	北砂富三君	26	依田儀一君	27	岸幸博君	28	山下精一君
29	長野俊八君	30	山口敏彦君	31	迫田洋一郎君	32	薩田信次郎君
33	中稲隆次君	34	蒲生文衛君	35	中村彰君	36	佐々木万次郎君
37	石田忠良君	38	加藤真義君	39	菊地康公君	40	木村誠二君
41	児玉清君	42	松崎正実君	43	高橋清君	44	土屋翁三君
45	後藤定毅君	46	橋本健彦君	47	佐藤伴道君	48	村松令隆君
49	阿部豪一君	50	近藤富士男君	51	藤塚勝明君	52	古郡清君
53	本田博司君	54	松本忠明君	55	鈴木久次郎君	56	高橋政勝君
57	上田利久君	58	館盛道明君	59	郡司守君	60	長谷川清君
61	伊藤英夫君	62	鈴木博士君	63	山崎賢二君	64	番桂柳君
65	小倉弘君	66	橋本日吉君	67	塙満子君	68	佐藤信夫君
69	高橋潔君						

10. 米山記念奨学会

○米山功労法人

1	聖和電設(株) (古田土勝美君)	2	車体工業(株) (清水洋三君)	3	株日本コンピューターユーセイジ (辻 國明君)
---	---------------------	---	--------------------	---	----------------------------

○米山功労者

1	有澤昭二君	2	②郡司守君	3	寺田五六君	4	布施光雄君
5	橋本健彦君	6	大高安男君	7	高橋政勝君	8	藤田重成君
9	鈴木久次郎君	10	富澤重徳君	11	石渡英二郎君	12	⑨長谷川清一君
13	伊藤英夫君	14	②芦田敬治君	15	松本忠明君	16	上村幹雄君
17	迫田洋一郎君	18	土屋翁三君	19	松崎正実君	20	藤塚勝明君
21	後藤定毅君	22	神作 彰君	23	長野俊八君		

○米山ファンドフェロー

1	前原一男君	2	村松令隆君	3	上田利久君	4	梅田秀雄君
5	古木勝治君	6	長谷川清君	7	近藤富士男君	8	中西功君
9	佐藤信夫君	10	高橋清君	11	館盛道明君		

○米山準功労者

1	近藤富士男君	2	金井大輔君	3	大門宏光君	4	松本三郎君
5	小島健一君	6	松崎正実君	7	長野俊八君	8	佐藤正勝君
9	古郡清君	10	前原一男君	11	薩田信次郎君	12	横澤創君
13	二見長幸君	14	石川健次君	15	本田博司君	16	高橋清君
17	柿本伊佐男君	18	梅田秀雄君	19	飯田豊太君	20	加藤眞義君
21	蒲生文衛君	22	中西功君	23	椋茂廣君	24	石田忠良君
25	竹原繁男君	26	寺田五六君	27	番桂柳君	28	鈴木久次郎君
29	神作 彰君	30	古川巖君	31	依田儀一君	32	山崎賢二君
33	牧野弘君	34	北砂富三君	35	木村誠二君	36	中村彰君
37	岸幸博君	38	小林勇君	39	児玉清君	40	目黒雄介君
41	中稲隆次君	42	佐々木万次郎君	43	佐藤伴道君	44	長谷川清君
45	小野孝男君	46	有澤昭二君	47	藤田重成君	48	橋本健彦君
49	館盛道明君	50	鈴木博士君	51	橋本日吉君	52	塙満子君
53	伊藤英夫君	54	小柳智裕君	55	蒔田誠三郎君	56	松本忠明君
57	高橋清君						

11. 青少年育成基金 500,000円(平成15年3月) 故長谷川清一君ご遺族
 200,000円(平成15年5月) 藤田重成君
 100,000円(平成15年6月) 後藤定毅君

12. 歴代会務分担表(別表(3))

13. 大和中ロータリークラブ電話連絡網(別表(5))

14. 大和中ロータリークラブ運営規定集(定款・細則・内規)(別表(6))

15. 2003~2004年度地区委員

ロータリー情報 前原 一男 ロータリー家族 伊藤 英夫
 地区職業奉仕委員会 館盛 道明 人道的プログラム 中西 功

16. 歴代ガバナー・分区代理・会長・幹事名（敬称略）

年 度	ガバナー	分区代理	会 長	幹 事
昭和 53 年 (1978)	細 谷 実 (藤沢北)	第359地区第6分区 松 村 松太郎 (座間)	矢 野 久 元	長谷川 清 一
53 ~ 54 年 (1978~1979)	蔵 並 定 男 (鎌倉)	第259地区第6分区 富 田 清次郎 (相模原南)	矢 野 久 元 蜂 屋 良 平	長谷川 清 一
54 ~ 55 年 (1979~1980)	伊 藤 茂 (相模原中)	塚 本 勉 (大和)	芦 田 敬 治	北 砂 富 三
55 ~ 56 年 (1980~1981)	加 藤 進 治 (横浜)	斎 藤 隆 寿 (座間)	亀 谷 志 郎	富 澤 重 徳
56 ~ 57 年 (1981~1982)	渡 辺 嘉造伊 (川崎南)	鹿 島 直 麿 (相模原中)	伊 藤 正 男	辻 國 明
57 ~ 58 年 (1982~1983)	加 藤 宗兵衛 (伊勢原)	小 沢 睦 (大和)	寺 田 五 六	郡 司 守 明 辻 國 明
58 ~ 59 年 (1983~1984)	加 島 淳 (横浜磯子)	第259地区第11分区 大 岩 真 (厚木)	長谷川 清 一	古 木 勝 治
59 ~ 60 年 (1984~1985)	津 田 進 (川崎北)	亀 谷 志 郎 (大和中)	猪 熊 唯 夫	伊 藤 英 夫
60 ~ 61 年 (1985~1986)	上 野 良 一 (横浜中)	真 崎 勇 (座間)	上 田 利 久	近 藤 富 士 男
61 ~ 62 年 (1986~1987)	小 林 亮 (相模原)	会 田 国 喜 (厚木中)	藤 田 重 成	土 屋 翁 三
62 ~ 63 年 (1987~1988)	岡 崎 全 宏 (横浜南)	川 島 熊 平 (大和)	富 澤 重 徳	高 橋 政 勝
63 ~ 平成 1 年 (1988~1989)	谷 口 栄 (横浜東)	大 貫 嘉 一 (厚木)	石 渡 英 二 郎	松 本 三 郎
平成 1 年 ~ 2 年 (1989~1990)	濱 田 勝 彌 (伊勢原)	第278地区第5分区 土 橋 亘 (大和田園)	北 砂 富 三	後 藤 定 毅
2 ~ 3 年 (1990~1991)	古 館 誠 (鎌倉大船)	第278地区第6分区 大 矢 晴 行 (大和)	有 澤 昭 二	中 西 功
3 ~ 4 年 (1991~1992)	山 道 昭 彦 (藤沢)	第2780地区第6分区 黄 金 井 一 太 (厚木)	松 本 忠 明	長 野 俊 八
4 ~ 5 年 (1992~1993)	生 沼 富 治 (小田原北)	手 塚 正 夫 (座間中央)	辻 國 明	前 原 一 男
5 ~ 6 年 (1993~1994)	山 本 淳 正 (逗子)	芦 田 敬 治 (大和中)	伊 藤 英 夫	神 作 彰
6 ~ 7 年 (1994~1995)	神 崎 正 陳 (茅ヶ崎湘南)	世 古 晴 次 (海老名)	古 木 勝 治	古 田 土 勝 美
7 ~ 8 年 (1995~1996)	真 崎 勇 (座間)	三 河 政 夫 (座間中央)	高 橋 政 勝	上 村 幹 雄
8 ~ 9 年 (1996~1997)	河 本 親 秀 (大磯)	石 川 範 義 (厚木中)	土 屋 翁 三	松 崎 正 実
9 ~ 10 年 (1997~1998)	小 山 計 玄 (伊勢原)	山 下 恵 代 (座間)	後 藤 定 毅	古 郡 清
10 ~ 11 年 (1998~1999)	後 藤 忠 雄 (横須賀南)	道 岸 唯 一 (大和)	橋 本 健 彦	藤 塚 勝 明
11 ~ 12 年 (1999~2000)	中 山 達 二 郎 (綾瀬)	加 藤 一 郎 (厚木)	中 西 功	蒲 生 文 衛
12 ~ 13 年 (2000~2001)	小 沢 一 彦 (横須賀)	笠 松 歳 雄 (大和田園)	近 藤 富 士 男	梅 田 秀 雄
13 ~ 14 年 (2001~2002)	竹 内 万 也 (秦野)	辻 国 明 (大和中)	鈴 木 久 次 郎	高 橋 清

会 計

伊藤 英夫

1. 本年度の諸会費の内訳及び納入時期は、下記の通りと致します。

(A) 入	会	金	100,000円	入会時に納入
(B) 年	会	費	250,000円	年2回に分割
(C) 周年記念事業積立金			12,000円	年2回に分割
(D) 臨時	会	費		随 時

上記のうち B. C. の納入日は、それぞれ7月1日および1月1日です。

会費等は現金・小切手の持参もしくは銀行振込で納入してください。

2. 会費等の振込先は下記の銀行口座とします。

銀行名 八千代銀行 大和支店

口座番号 普通預金 0711972

口座名義 大和中ロータリークラブ 会計 伊藤 英夫

3. 当クラブの2003～2004年度会計予算は、別紙のとおりとします。

4. 年に2回（前、後期末）半期毎報告書を作成し、全会員に報告致します。また、月次毎の決算を理事会に提出致します。

2003～2004年度 一般会計予算

(平成15年7月1日～平成16年6月30日)

(単位 円)

科	目	予 算 額	備 考	
収入の部	前年度繰越金	1,195,414		
	年会費	12,500,000	前期@125,000×49人 後期@125,000×51人	
	入会金	200,000	@100,000×2人	
	ビクター会費	460,000	@2,500×4人×46週	
	雑収入	1,000	預金利息等	
合 計		14,356,414		
支出の部	クラブ運営費	例会費	5,600,000	例会食事代
		理事会費	90,000	
		クラブ協議会費	50,000	クラブ協議会補助
		事務局費	1,214,400	(88,200+交通費13,000) ×12ヶ月
		事務所賃借料	819,000	@68,250×12ヶ月
		渉外費	500,000	対外慶弔費、会長幹事会、大和まつり/阿波踊り賛助金
		慶弔費	150,000	クラブ内慶弔費
		贈答費	60,000	記念品、お礼等
		通信費	300,000	電話、FAX、郵便切手、銀行諸費用等
		図書費	200,000	「友」、「ザ・ロータリアン」、全国会員名簿、文献等
		印刷費	500,000	クラブ活動計画書、ポケット名簿
	文具費・備品費	350,000	コピーメンテナンス・プリンタリース料、事務用品、文具、消耗品等	
	雑費	20,000		
	小 計		9,853,400	
	クラブ奉仕	出席委員会	150,000	皆出席記念品
		クラブ会報委員会	700,000	印刷費用等
		親睦活動委員会	450,000	家族会補助等
		プログラム委員会	150,000	ゲストスピーカー謝礼等
		広報委員会	20,000	資料作成費等
ロータリー情報委員会		20,000	資料作成費等	
他のクラブ奉仕委員会		20,000		
小 計		1,510,000		
地区費	地区資金	1,075,000	前期@10,750×49人、後期@10,750×51人	
	地区大会分担金	245,000	@5,000×49人	
	地区協議会費	180,000	@10,000×18人	
	I・M分担金	408,000	@8,000×51人	
	米山記念奨学会	150,000	前期@1,500×49人、後期@1,500×51人	
小 計		2,058,000		
R.I.負担金	人頭分担金	203,000	前期@17.5 U S \$ ×49人、後期@17.5 U S \$ ×51人	
	小 計		203,000 (U S \$ 1 = 116円)	
予備費		732,014		
合 計		14,356,414		

2003～2004年度 奉仕会計予算

(平成15年7月1日～平成16年6月30日)

(単位 円)

	科 目	予 算 額	備 考
収入の部	前年度繰越金	1,876,483	
	スマイル	1,800,000	
	雑収入	1,000	預金利息等
	合 計	3,677,483	
支出の部	職業奉仕	100,000	
	社会奉仕	200,000	
	国際奉仕	400,000	財団、米山含む
	新世代奉仕	1,000,000	
	記念品	400,000	
	予備費	1,577,483	
	合 計	3,677,483	

周年記念事業積立金会計予算

(平成15年7月1日～平成16年6月30日)

(単位 円)

	科 目	予 算 額	備 考
収入の部	前年度繰越金	1,933,712	
	会員積立金	600,000	前期@6,000×49人 後期@6,000×51人
	雑収入	1,000	預金利息等
	合 計	2,534,712	
支出の部	次年度へ繰越	2,534,712	
	合 計	2,534,712	

≡≡≡ クラブ奉仕委員会 ≡≡≡

委員長 古 郡 清
副委員長 小 林 勇
委 員 各小委員会委員長

○活動方針

会員相互が信頼しあい、親睦を深めるためロータリー活動の活性化をはかります。

○実施計画

各奉仕小委員会が活動計画を達成するために小委員会との連絡と調整をはかります。

—— (イ)出席委員会 ——

委員長 郡 司 守
副委員長 横 澤 創
委 員 松 崎 正 実

○活動方針

会員が例会に出席することは、奉仕の機会と、会員相互の親睦の機会を得る大きなチャンスです。会員が他の人から受ける、又、会員が他の人に与える研鑽の場を放棄することのないように出席を勧奨して参ります。

○実施計画

出席率の向上を図り研鑽の場を多くする。

- (1)欠席者のメイクアップに対する対応情報を掴み、欠席1週間後メイクアップが終了していない場合、当事者に電話、FAX、Mailなどで喚起する。
- (2)例会欠席の続く会員には近隣クラブ例会変更などの情報を通知し、メイクアップしやすい様に心がける。
- (3)クラブ細則第9条出席義務規定の免除会員も多数を数えるようになりましたので、参考に免除会員の出席率なども公表して参る考えです。
- (4)情報委員会の協力を得て、新入会員及び欠席がちの会員を集め出席率向上の家庭集会を開く（8月頃）

（ロ）クラブ会報委員会

委員長 鈴木 博士
副委員長 高橋 潔
委員 松本 忠明
飯田 豊太

○活動方針

より正確な例会の記録と読みやすい紙面づくりを行って行きたい。また会長テーマである会員同士の信頼・親睦がより一層深まるよう各委員会・個人・サークル等の広報を心がけていきたい。

○実施計画

- (1)極力、原稿の提出をお願いし正確かつ簡潔な紙面をつくる。
- (2)会員もしくは委員会の情報交換の場としての機能をもたせる。コラム欄・告知欄（仮称）等の掲載を積極的に行う。

（ハ）親睦活動委員会

委員長 埜 満子
副委員長 小柳 智裕
委員 間山 進也
疋田 哲夫
藤塚 勝明
椋 茂廣
水落 悟
青柳 文四郎

○活動方針

善意と良識あふれるロータリークラブ会員とその家族が、より強い信頼関係で結ばれることによって、仲間を持つ暖かい安心感と奉仕の精神を共有できるよう、楽しい時間を一緒に過ごし相互理解を深める場面を多く作り、同時に退会者の防止、更には会員増強にも繋がるよう努めて行きたい。

○実施計画

2ヶ月毎に結婚記念日のお祝い会

10月25日(土)～26日(日) 1泊家族会旅行…紅葉を楽しみながら林檎狩り

12月25日(木) クリスマス家族会

＝ (二) 雑誌委員会 ＝

委員長 横 澤 創
副委員長 上 田 利 久
委 員 藤 田 重 成

○活動方針

装いも新たに洒脱しゃだつになった「友」

○実施計画

リビングにあなたのオフィスにさりげなく！！

＝ (ホ) プログラム委員会 ＝

委員長 橋 本 日 吉
副委員長 中 西 功
委 員 目 黒 雄 介

○活動方針

本年度会長のクラブターゲットであります“信頼・親睦、そしてロータリーの仲間”を基本方針として、年間プログラムをバランスと魅力ある例会づくりを目指します。会員相互の信頼関係がより一層醸成してゆく様に、そして更に会員増強へも繋がる様な楽しいプログラムプランを計画してゆきたいと思えます。会員の皆様の絶大なるご協力をお願い申し上げます。

○実施計画

- (1) 昨年に継続して本年も会員の卓話を多く取り入れ、より一層の会員同士のコミュニケーションを深めます。
- (2) 会員同士が自分のクラブへ、自分たちの地域社会へ、自分たちのグローバルな世界へ、自分たちの天職へもっと「手を貸そう」のクラブ精神創りを目指します。
- (3) 地域で活躍している各界の人からロータリアンとしての幅広い知識を学びたい。

年間プログラム予定表

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
7 月	3	木	12:30	例会（1223回） 挨拶	「就任にあたり」 長野俊八会長 蒔田誠三郎幹事	会 長 幹 事
			13:40	第1回クラブ協議会	「年度のはじめにあたり」	
	10	木	12:30	例会（1224回） クラブフォーラム	「クラブ奉仕について」	クラブ奉仕
	17	木		例会（1225回）	移動夜間例会 厚木：元湯玉川館	親睦活動
	24	木	12:30	例会（1226回） ゲストスピーカー	大和市長 土屋侯保氏 「これからの大和市政について」	プログラム
	31	木	12:30	例会（1227回） イニシエーションスピーチ	青柳文四郎 会員	プログラム
8 月	7	木		取止め例会（クラブ定款第5条第1節（C）により）		
	14	木		取止め例会（クラブ定款第5条第1節（C）により）		
	21	木	12:30	例会（1228回） クラブフォーラム	「増強について」	会員増強
	28	木	12:30	例会（1229回） 卓話	疋田哲夫 会員	プログラム
9 月	4	木	12:30	例会（1230回） 第2回クラブ協議会	「ガバナー公式訪問に備えて」 奥唄宏一ガバナー補佐を囲んで	会 長 幹 事
	11	木	12:30	例会（1231回） ゲストスピーカー	津軽三味線初代仁太坊 澤田勝成氏 「伝統から生まれる新たな創造」	プログラム
	18	木	12:30	例会（1232回） ガバナー公式訪問 第3回クラブ協議会	「中西功ガバナーと共に」	会 長 幹 事
	25	木	12:30	例会（1233回） クラブフォーラム	「新世代奉仕について」	新世代奉仕
	27 28	土 日		第2780地区大会		

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
識字率向上月間 7/10(木) 拡大増強・退会防止セミナー 7/10(木) 定例理事会	1 水落 2 飯田 20 北砂 24 郡司 28 松本	30 北砂		1 長谷川(清) 1 小柳 17 高橋(清)	10 後藤 13 椋 16 橋本(健) 23 高橋(清)
会員増強および拡大月間 8/21(木) 定例理事会	2 高橋(潔) 4 高橋(政) 8 橋本(健) 12 古木 23 蒔田 30 館盛	9 目黒 9 山崎 21 水落	22 小柳	1 間山 13 前原	3 石川 17 中西 26 菊地 28 長谷川(清)
新世代のための月間 9/1(月) 米山奨学セミナー 9/11(木) 定例理事会 9/27(土)～28(日) 地区大会	8 間山 9 疋田 18 長谷川(清) 28 前原	2 藤塚 22 菊地 26 郡司 28 古郡	3 松本 10 芦田 15 松崎 23 北砂	1 後藤 20 寺田 29 依田	6 小林 7 蒔田 9 長野 13 寺田 27 塙

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当	
10 月	2	木	12:30	例会（1234回） 第4回クラブ協議会	地区大会を終えて	会 長 幹 事	
	9	木	12:30	例会（1235回） 卓話	「米山記念奨学について」	米山奨学	
	16	木	12:30	例会（1236回） クラブフォーラム	「企業理念(ビジョン)に基づく企業経営と企業実態」	職業奉仕	
	23	木	10月25日(土)・26日(日) 一泊家族会に振替				
	25 26	土 日		例会（1237回）	一泊例会 紅葉を楽しみながらリンゴ狩り	親睦活動	
	30	木	12:30	例会（1238回） 卓話	帰国報告 青少年交換留学生 田辺友恵さん	国際奉仕	
11 月	6	木	取止め例会（クラブ定款第5条第1節（C）により）				
	13	木	12:30	例会（1239回） ゲストスピーカー	アナウンサー 平田由美氏	プログラム	
	20	木	12:30	例会（1240回） 卓話	「ロータリー財団月間によせて」	R 財 団	
	27	木	12:30	例会（1241回） イニシエーションスピーチ		プログラム	
12 月	4	木	12:30	例会（1242回） 年次総会 ゲストスピーカー	荒井広和氏 「川柳のお話」	プログラム	
	11	木	12:30	例会（1243回） 卓話	「環境保全について」	社会奉仕 環境保全	
	18	木	12:30	例会（1244回） 卓話	上田利久 会員 「まか不思議 タバコの煙」	プログラム	
	25	木	18:30	例会（1245回） 半期報告	蒔田誠三郎 幹事 クリスマス家族会	親睦活動	

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
米山月間・職業奉仕月間 10/1(水) R情報セミナー 10/9(木) 定例理事会	4 小柳 16 工藤 21 佐藤 25 菊地	24 梅田 25 高橋(潔) 27 神作	7 岸 7 疋田 8 鈴木(博) 10 寺田 10 蒔田 13 前原 20 郡司 24 梅田	1 石田 18 石川	3 水落 16 藤塚 18 古木 30 高橋(政)
ロータリー財団月間 11/13(木) 定例理事会	18 塙 25 蒲生	6 番 12 蒲生 23 石田 28 小林 29 高橋(政)	3 後藤 3 鈴木(久) 10 水落 18 山崎 21 橋本(日) 23 椋	6 北砂 13 橋本(日) 20 工藤 27 郡司	7 間山 5 飯田 12 依田
12/11(木) 定例理事会	5 岸 12 芦田 18 山崎	3 岸 4 館盛 16 橋本(健) 17 松本 18 前原 24 中西	8 高橋(潔) 14 長野	1 蒲生 6 佐藤 6 疋田 10 松崎 15 松本 25 鈴木(久)	3 松崎 7 鈴木(久) 8 郡司 10 館盛

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
ロータリー理解推進月間 1/15(木) 定例理事会 1/25(日)～31(土) ポールハリス追悼記念週間	4 松崎 18 鈴木(博) 19 梅田 21 鈴木(久) 21 長野 23 上田	1 石川 12 小柳 20 長谷川(清) 23 上田 23 伊藤 24 橋本(日) 29 松崎	15 橋本(健) 17 伊藤 21 藤田 26 古木	1 中西 1 埴 7 水落 13 橋本(健) 16 古木 17 伊藤	6 山崎
世界理解月間 2/12(木) 定例理事会 2/23(月)～29(日) ロータリー創立記念日 (世界理解と平和週間)	2 石川 7 中西 12 高橋(清) 15 青柳 25 椋	10 鈴木(久) 17 古木 20 佐藤	20 石川	1 高橋(潔) 22 菊地 25 上田	28 古郡
3/11(木) 定例理事会 3/17(水) 会長エレクト研修セミナー (PETS)	5 横澤 6 神作 15 依田 18 伊藤 19 古郡 31 番	7 工藤 10 鈴木(博) 15 椋 18 疋田 21 高橋(清) 22 青柳	16 小林 19 中西 21 青柳 23 佐藤 25 工藤 26 飯田 31 神作	1 古郡 4 飯田 8 横澤 15 芦田 16 小林	3 神作 4 岸 7 目黒 8 高橋(潔) 15 橋本(日) 28 小柳 28 工藤

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当	
4 月	1	木	12:30	例会（1258回） 卓話	「雑誌月間によせて」	雑 誌	
	8	木	12:30	例会（1259回） ゲストスピーカー	田中一郎氏 写真集「遠野 夢山河」	プログラム	
	15	木	12:30	例会（1260回） 卓話	山崎賢二 会員	プログラム	
	22	木	12:30	例会（1261回） 卓話	蒲生文衛 会員	プログラム	
	29	木		休日につき休会とする			
5 月	6	木		取止め例会（クラブ定款第5条第1節（C）により）			
	13	木	12:30	例会（1262回） 卓話	「創立記念日にあたり」 高橋政勝 会員	プログラム	
	20	木	12:30	例会（1263回） 卓話	「次年度にむけて」	会長エレクト	
	27	木	12:30	例会（1264回） 卓話	番 桂柳 会員	プログラム	
6 月	3	木	12:30	例会（1265回） 卓話	神作 彰 会員	プログラム	
	10	木	12:30	例会（1266回） 卓話	芦田敬治 会員	プログラム	
	17	木	12:30	例会（1267回） 第7回クラブ協議会	「年度終了にあたり」	会 長 幹 事	
	24	木	12:30	例会（1268回） 挨拶	「1年を顧みて」 長野俊八 会長 蒔田誠三郎幹事	会 長 幹 事	

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
ロータリー雑誌月間	11 藤塚	10 横澤	2 藤塚	1 番	9 梅田
4/8(木) 定例理事会	11 目黒	11 後藤	3 上田	1 藤田	18 番
4/25(日) 地区協議会		17 寺田	10 高橋(政)	1 梅田	23 石田
		28 芦田	12 目黒	1 蒔田	
		30 藤田	18 古郡	1 岸	
		30 蒔田	25 菊地	1 山崎	
			29 長谷川(清)	1 高橋(政)	
			29 横澤	1 青柳	
				8 館盛	
				21 鈴木(博)	
5/9(日) クラブ創立記念日	15 藤田		7 石田	1 棕	6 鈴木(博)
5/13(木) 定例理事会	15 橋本(日)		14 蒲生	17 藤塚	10 蒲生
5/25(日)~26(水)	24 小林		18 館盛		12 前原
国際大会(大阪)			21 番		23 疋田
			27 高橋(清)		25 佐藤
趣味職業別親睦活動月間	3 石田	8 飯田		10 神作	13 横澤
6/10(木) 定例理事会	11 後藤	9 長野		21 長野	21 青柳
	14 寺田			29 目黒	23 芦田
					23 伊藤
					23 上田
					23 北砂
					23 藤田
					23 松本

＝ (ハ) 広報委員会

委員長 蒲 生 文 衛
副委員長 松 崎 正 実
委 員 依 田 儀 一

○活動方針

来年創立100周年を迎える歴史的団体であるロータリーの名前は知られていてもどう
いう団体かはあまりにも知られていないと言われていいます。ロータリーを広く一般に情
報提供します。

○実施計画

(1)外部広報

地方紙、ミニコミ紙、市の広報等と連携を取り、クラブの奉仕情報を提供します。

(2)内部広報

会員のための情報提供に心掛け、そのための有効な手段を模索します。

(3)その他

情報関係者を仲間に迎える努力をします。

＝ (ト) スマイルボックス委員会

委員長 神 作 彰
副委員長 北 砂 富 三
委 員 松 本 忠 明

○活動方針

スマイルボックス委員会は、会員各位の慶事やゴシップ等をニコニコ笑って自己申告
して貰いその資金を奉仕活動に使うことが本来の趣旨であります。当クラブはこの資金
が奉仕会計の大部分であることを認識し、会員及びビジターの方々にも協力をお願いし
ます。

○実施計画

自発的に奉仕活動に使われる財源の確保につとめ、又例会場の雰囲気作りの一助とな
りますように努めて参ります。

組織部門

菊地康公

○活動方針

1994～95年度組織部門発足以来、当クラブ発展の為、会員増強に重点を置き、奉仕の理想を鼓吹し、4つの委員会一丸となって、その任務に当たり目的達成に努力いたします。

(イ) 会員選考委員会

委員長 後藤定毅
副委員長 橋本健彦
委員 伊藤英夫

○活動方針

ロータリークラブは公平・平等・寛容を旨とする任意の団体であり、クラブを構成する会員の資質こそが融和発展のその根幹であり、全てである。

したがって将来会員として、クラブの伝統的、献身的、模範的な奉仕活動を継承していくことができるかどうかの観点から、推薦される候補者を選考していきたい。

○選択方針

- (1) 協調性
- (2) 信頼性
- (3) 将来性

○活動計画

- (1) 選考前の会員増強委員会との連携
- (2) 選考後の親睦活動委員会・ロータリー情報委員会との関係強化

（ロ）会員増強委員会

委員長 目黒雄介
副委員長 岸幸博
委員 塙満子
古郡清

○活動方針

- (1)信頼と親睦、そしてプラスワン
- (2)退会防止の一助としての楽しい例会

○実施計画

- (1)会員純増1名確保のための情報収集
- (2)親睦活動委員会とプログラム委員会に協力し、楽しいクラブ、楽しい例会、魅力あるロータリーライフの構築で退会防止に努める。

（ハ）職業分類委員会

委員長 ①梅田秀雄
副委員長 ②高橋清
委員 ③石川健次

○活動方針

ロータリーの基本原則をふまえ、時代にあった職業を発掘して関連委員会をサポートする。

○実施計画

- (1)当委員会と関連のある会員増強委員会と会員選考委員会とは連絡を密にとりながら行動する。
- (2)現在の職業分類一覧表を基準に検討し9月頃までに新一覧表を会員に配布する。

職 業 分 類 一 覧 表

(平成15年 7 月 1 日)

職 業 分 類	会 員 名	事 業 所 名
外 科 医	芦 田 敬 治	芦田医院
〃	番 桂 柳	大和中央外科
内 科 医		
小 児 科 医	上 田 利 久	ウエダ小児科
産 婦 人 科 医		
眼 科 医		
歯 科 医		
獣 医	松 崎 正 実	つきみ野松崎動物病院
普 通 銀 行	疋 田 哲 夫	(株)八千代銀行大和支店
郵 便 事 業		
農 園	高 橋 政 勝	(有)高橋
損 害 保 険	北 砂 富 三	(株)オーシャニック
生 命 保 険	小 柳 智 裕	(有)ワイブレイン
弁 護 士		
司 法 書 士		
社 会 保 険 労 務 士		
税 理 士	菊 地 康 公	菊地康公税理士事務所
経 営 コ ン サ ル タ ン ト		
工 業 薬 品 販 売		
紳 士 服 販 売	前 原 一 男	(有)アローテラー
寝 具 販 売		
履 物 販 売	小 林 勇	(有)桂屋商店
家 具 販 売	蒲 生 文 衛	(株)チトセヤ家具センター
家 庭 用 電 気 器 具 販 売		
書 籍 販 売		
新 聞 販 売		
茶 販 売	梅 田 秀 雄	(株)渡辺園
酒 類 販 売	鈴 木 久 次 郎	(有)鈴久

職 業 分 類	会 員 名	事 業 所 名
洋菓子製造販売	松本 忠明	(有)チロル
コンビニエンスストア		
スーパーマーケット	伊藤 英夫	(有)イトウ
中華料理	石川 健次	(株)北京飯店
日本料理	工藤 俊治	旬庵
ホテル業		
クリーニング業		
観光事業	鈴木 博士	バリュートラベルサービス
自転車販売	長野 俊八	サイクルセンターナガノ
自動車販売	目黒 雄介	(株)中央自動車販売
自動車整備		
ガソリンスタンド		
プロパンガス販売		
印刷業	蒔田 誠三郎	(有)アドタック
機械部品製造	後藤 定毅	フジ工業(株)
設備機械輸出		
電子部品製造	橋本 健彦	東京テック(株)
ソフト開発販売		
宗教家	館盛 道明	定方寺
農業	古木 勝治	古木農園
幼稚園		
学習塾		
運送業	古郡 清	(有)緑運輸
物流代行業	神作 彰	石井運輸(株)
不動産管理	山崎 賢二	(有)山崎事務所
不動産取引	飯田 豊太	(有)大和地所
貸ビル業	長谷川 清	(有)長谷川商事
貸倉庫	高橋 清	(有)文が岡商事
〃	郡司 守	(株)ゲンジ
インテリアコーディネーター		
建築設計	椋 茂廣	(有)椋一級建築士事務所
鉄骨建築	藤田 重成	(有)藤田工務店

職 業 分 類	会 員 名	事 業 所 名
土 木 業	寺 田 五 六	(株) 寺田土木
木 造 建 築	藤 塚 勝 明	(有) 藤塚工務店
住 宅 建 築	埴 満 子	カムホーム(株)
総 合 建 設 業	横 澤 創	ニッケン建設(株)
住 宅 設 備	岸 幸 博	岸木工(有)
建 具 製 造 販 売		
冷 暖 房 空 調 設 備		
ガ ス 機 器 エ ン ジ ニ ア	石 田 忠 良	(有) イシダ熱器
水 道 工 事		
電 気 工 事		
建 築 材 料 販 売	中 西 功	(有) 中西商店
通 信 ケ ー ブ ル 工 業		
内 装 材 料 販 売	青 柳 文 四 郎	(株) 和光堂
生 コ ン ク リ ー ト 製 造	依 田 儀 一	(株) 依田儀一商店
通 信 設 計		
プ ラ ス チ ッ ク 加 工 業	佐 藤 信 夫	(株) アベックスポリマー
ダ ン ボ ー ル 製 造	高 橋 潔	マルマン紙業(株)
ネ ッ ト ワ ー ク 機 器 販 売	橋 本 日 吉	(株) 東邦通信システムズ
制 御 機 器 設 計 ・ 製 作	水 落 悟	大和理研(株)
弁 理 士	間 山 進 也	(有) 間山技術翻訳

充 填 職 業 47

未 充 填 職 業 32

＝ (二)ロータリー情報委員会

委員長 ①鈴木 久次郎
副委員長 ②前 原 一 男
委 員 ③長 野 俊 八

○活動方針

当委員会は会長の方針に基づいて会員にロータリーに関する情報を的確に提供し、会員相互の理解を深める為に次の活動を実施する。

○活動計画

- (1)炉辺集会を必要に応じて開催する。
- (2)例会時にロータリー情報等を提供していく。
- (3)新しい会員が早くクラブに同化できる為の機会をつくる。

＝ 会場監督(SAA)

正 梅 田 秀 雄
副 高 橋 潔
館 盛 道 明

○活動方針

大和中ロータリークラブにふさわしい、楽しく和やかな中にも秩序ある例会になる様に努力致します。

○活動計画

- (1)会長、幹事、出席、親睦活動、プログラム各委員会と連絡を密にし、例会がスムーズに進行するようにしたい。
- (2)ゲスト、ビジターの方々を心から歓迎し、よき印象をもって帰っていただくようにする。
- (3)会員同士の親睦がより深まるよう2ヶ月に1回程度の席替えを行なう。

職業奉仕委員会

委員長 佐藤 信夫
副委員長 芦田 敬治
委員 疋田 哲夫
岸 幸博

○活動方針

ロータリー綱領は有益な事業の基礎として（まさに職業奉仕活動の原点）奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を育成することにある。

- ①職業奉仕活動を通じて会員同士の親睦を深める。
- ②職業奉仕を強化すること。
- ③職業奉仕活動を通じて社会奉仕すること。
- ④職業奉仕活動を通じて国際奉仕すること。

この原点にたちかえり、実業人、専門職業人として我、大和中ロータリアン各自が実業の継続・発展することが重要なことです。従って、時代、景気にあまり左右されない強固で磐石な会社運営をP・D・C・Aで廻し、利潤追求することが職業奉仕活動により一層重要である。

○活動計画

- (1)職業奉仕活動の源泉である企業活動を継続・発展させるためには将来の経営の道しるべ、としての経営指針書の作成指導およびフォーラムでの発表
- (2)会員会社の職業内容紹介と会社訪問
- (3)中学・高校での職業倫理、会社経営等についてのオリエンテーションを開催

社会奉仕委員会

委員長 飯田 豊太
副委員長 山崎 賢二
委員 工藤 俊治

○活動方針

RI会長は会長テーマ「手を貸そう」の中で特に貧困を減らすことを第一の目標とされています。このことは社会奉仕委員会にとっては最大のテーマではありますが、我がクラブの社会奉仕として実際に福祉対策、交通安全対策、身障者対策等、いろいろな社会問題の中で何が求められているニーズなのか、又何が実際的効果があるのかを協議し全員で事業を遂行していきたいと考えます。

○実施計画

協議をして決めていく。

（イ）環境保全委員会

委員長 工藤俊治
副委員長 小林勇
委員 古木勝治

○活動方針

地域の環境保全活動に対して積極的な支援を行なう。

○実施計画

- (1)家庭排水等による水質汚染防止のための啓発活動を行なう。
- (2)地域学校の環境教育に対する支援を行なう。

国際奉仕委員会

委員長 高橋清
副委員長 石田忠良
委員 高橋政勝
長谷川清

○活動方針

国際奉仕委員会の役割は重要な時期にきております。世界では至るところで紛争が起きて争いがたえません。世界の情勢は混沌としている現状であります。

争いのない平和な世界の国々でありたいものです。そこで当委員会としては、会長ターゲットである“信頼・親睦、そしてロータリーの仲間”にそって国際感覚に満ちた活動を展開して参ります。

○実施計画

- (1)姉妹クラブである東慶州ロータリークラブとの信頼と親睦を更に密にして参ります。
- (2)大阪で開催される国際大会への参加を積極的に呼びかけて参ります。
- (3)大和市国際化協会と連携し市内在住の外国人に対し交流を深めると共に支援して参ります。
- (4)海外に於ける災害への対応を敏速に援助して参ります。

（イ）ロータリー財団委員会

委員長 高橋 政 勝
副委員長 番 桂 柳
委 員 寺 田 五 六

○活動方針

ロータリー財団の使命は国際規模の人的文化交流プログラムを通じて、会員の善意と努力で財団に資金提供をして現在に至っています。

財団の使命を深く理解して頂き当委員会では次のような計画を立てました。

○実施計画

(1)財団目標 人頭×180ドル

ベネファクター 1名以上

(2)各種別に協力者をお願いする。

ベネファクター マルチプルポールハリスフェロー 準フェロー

(3)財団月間には関係者を招き理解を深めるような卓話を行なう。

（ロ）米山奨学委員会

委員長 長谷川 清
副委員長 椋 茂 廣
委 員 山 崎 賢 二

○活動方針

米山奨学事業は、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、世界平和の維持に貢献することを目的としています。

今年度は引き続き「世話クラブ」の担当もあるので、会員各位に一層のご理解ご協力をお願いするとともに、一人でも多くの会員が新・米山功労者／新・米山ファンドフェローとして表彰されることを目標とします。

○実施計画

(1)米山奨学寄付金目標金額の達成。

(2)米山奨学生世話クラブとしての支援。

ヨウシヤクジエン
(楊篠臻さん受け入れ期間：2002年4月1日～2004年3月31日)

(3)米山奨学事業の目的・内容・制度について理解を深めていただく諸活動。

≡≡≡ 新世代奉仕委員会 ≡≡≡

委員長 藤 塚 勝 明
副委員長 橋 本 日 吉
委 員 鈴 木 博 士
小 柳 智 裕

○活動方針

SARSの拡大によって高校生を対象とした短期海外派遣を見送らざるを得ない状況の中で、昨年度のバトミントン交流を実施し大きな成果を上げたことを評価し、更に発展させより多くの学生に国際交流の場所を提供してみたい。

○実施計画

韓国金泉女子高等学校の監督・コーチ・選手を招聘し、市内及び県央地区の中学・高校のバトミントン部の選手とスポーツ交流する機会を企画し支援する。



MEMO

2003～2004年度 役員・理事・委員会一覧表

役 員		理 事	
会 長	長 野 俊 八	佐 藤 信 夫	(職業奉仕担当)
会長エレクト (組織部門担当)	菊 地 康 公	飯 田 豊 太	(社会奉仕担当)
副 会 長 (クラブ奉仕担当)	古 郡 清	高 橋 清	(国際奉仕担当)
幹 事	蒔 田 誠三郎	藤 塚 勝 明	(新世代奉仕担当)
会 計	伊 藤 英 夫	舘 盛 道 明	(副 幹 事)
会場監督(SAA)	梅 田 秀 雄		

*会計監査 藤田 重成 北砂 富三

委 員 会 名	委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕	古郡 清	小林 勇	郡司 守・鈴木 博士 塙 満子・横沢 創 橋本 日吉・蒲生 文衛 神作 彰
出 席 ク ラ ブ 会 報 親 睦 活 動	郡司 守 鈴木 博士 塙 満子	横沢 創 高橋 潔 小柳 智裕	松崎 正実 松本 忠明・飯田 豊太 間山 進也・疋田 哲夫 藤塚 勝明・椋 茂廣 水落 悟
雑 誌 プ ロ グ ラ ム 広 報 スマイルボックス	横沢 創 橋本 日吉 蒲生 文衛 神作 彰	上田 利久 中西 功 松崎 正実 北砂 富三	藤田 重成 日黒 雄介 依田 儀一 松本 忠明
組 織 部 門 会 員 選 考 会 員 増 強 職 業 分 類 ロータリー情報	菊地 康公 後藤 定毅 日黒 雄介 ①梅田 秀雄 ①鈴木久次郎	橋本 健彦 岸 幸博 ②高橋 清 ②前原 一男	伊藤 英夫 塙 満子・古郡 清 ③石川 健次 ③長野 俊八
会 場 監 督(S A A)	梅田 秀雄	高橋 潔	舘盛 道明
職 業 奉 仕 社 会 奉 仕 環 境 保 全 国 際 奉 仕 ロータリー財団 米 山 奨 学 新 世 代 奉 仕	佐藤 信夫 飯田 豊太 工藤 俊治 高橋 清 高橋 政勝 長谷川 清 藤塚 勝明	芦田 敬治 山崎 賢二 小林 勇 石田 忠良 番 桂柳 椋 茂廣 橋本 日吉	疋田 哲夫・岸 幸博 工藤 俊治 古木 勝治 高橋 政勝・長谷川 清 寺田 五六 山崎 賢二 鈴木 博士・小柳 智裕

I T担当 山崎 賢二

ソングリーダー 上田 利久 前原 一男

会 員 名 簿 (アルファベット順)

(別表 (2))

分類	番号	(フリガナ) 氏 名	職 業 分 類		事業所名	役職名	TEL	
			生 年 月 日	年 令	郵便番号 事業所所在地		FAX	
			入会年月日	年 数	郵便番号 自宅住所		TEL	
A	1	アオヤギ 青 柳	ブシロウ 文四郎		内装材料販売	株和光堂	取締役	275-0101
			昭 3.2.15	75	242-0006 大和市南林間1-15-11		☎ 275-2592	
			平 15.6.19	※	242-0013 大和市深見台4-6-11		263-2227	
	2	アシダ 芦 田	ケイジ 敬 治		外科医	芦田医院	院長	274-0906
			昭 2.12.12	75	242-0006 大和市南林間4-6-7		☎ 274-0906	
			昭 53.6.23	25	242-0006 大和市南林間4-6-7		274-0906	
B	3	バン 番	ケイリュウ 桂 柳		外科医	大和中央外科	院長	261-7380
			昭 6.3.31	72	242-0021 大和市中央5-2-7		☎ 261-8977	
			昭 60.4.18	18	242-0021 大和市中央5-2-7		261-6509	
F	4	フジタ 藤 田	シゲナリ 重 成		鉄骨建築	(有)藤田工務店	取締役	274-3931
			大 10.5.15	82	242-0006 大和市南林間1-5-15		☎ 275-5294	
			昭 53.6.23	25	242-0006 大和市南林間1-5-15		274-3931	
	5	フジツカ 藤 塚	カツアキ 勝 明		木造建築	(有)藤塚工務店	代表取締役	263-7323
			昭 19.4.11	59	242-0017 大和市大和東1-9-20		☎ 264-6943	
			昭 61.10.16	16	242-0017 大和市大和東1-9-20		261-1740	
	6	フルゴオリ 古 郡	キヨシ 清		運送業	(有)緑運輸	代表取締役	261-5580
			昭 18.3.19	60	242-0021 大和市中央7-16-15		☎ 261-4572	
			昭 60.2.28	18	242-0017 大和市大和東1-10-15		261-0327	
	7	フルキ 古 木	カツハル 勝 治		農業	古木農園	代表	276-0801
昭 11.8.12			66	242-0002 大和市つきみ野3-3-13		☎ 276-0288		
昭 54.10.18			23	242-0002 大和市つきみ野3-3-11		274-7632		
G	8	ガモウ 蒲 生	フミエ 文 衛		家具販売	株チトセヤ家具センター	代表取締役	261-5551
			昭 20.11.25	57	242-0016 大和市大和南1-9-2		☎ 261-5552	
			平 2.5.10	13	242-0013 大和市深見台1-10-26		261-0971	
	9	ゴトウ 後 藤	サダキ 定 毅		機械部品製造	フジ工業株	代表取締役	251-6100
			昭 18.6.11	60	228-0004 座間市東原2-16-26		☎ 229-3659	
			昭 55.7.10	22	243-0023 厚木市戸田1086		228-7795	
10	ゲンジ 郡 司	マモル 守		貸倉庫	株ゲンジ	代表取締役	261-7337	
		昭 8.7.24	69	242-0012 大和市深見東1-4-31		☎ 045-753-0750		
			再昭63.12.8	14	235-0021 横浜市磯子区岡村1-19-30		045-753-0750	
H	11	ハセガワ 長谷川	キヨシ 清		貸ビル業	(有)長谷川商事	代表取締役	0465-47-3615
			昭 29.9.18	48	250-0011 小田原市栄町1-1-35		☎ 0465-49-0326	
			平 9.8.28	5	256-0812 小田原市国府津3-2-26		0465-47-3615	
	12	ハシモト 橋 本	タケヒコ 健 彦		電子部品製造	東京テック株	代表取締役	0467-77-0882
			昭 12.8.8	65	252-1112 綾瀬市上土棚7-2-2-104		☎ 0467-77-0806	
			昭 56.7.16	21	241-0801 横浜市旭区若葉台2-18-1204		045-922-3099	
	13	ハシモト 橋 本	ヒヨシ 日 吉		ネットワーク機器販売	株東邦通信システムズ	代表取締役	276-5828
			昭 25.5.15	53	242-0007 大和市中央林間1-10-7		☎ 276-5964	
			平 13.3.15	2	242-0002 大和市つきみ野1-6-3-606	090-3498-0359	277-0818	
	14	ハナワ 塙	ミツコ 満 子		住宅建築	カムホーム株	代表取締役	262-9201
昭 15.11.18			62	242-0029 大和市上草柳6-7-10		☎ 262-5422		
平 13.9.7			1	242-0018 大和市深見西8-4-26	パストラル大和405	264-8840		

分類	番号	(フリガナ) 氏名	職業分類		事業所名	役職名	TEL
			生年月日	年令	郵便番号	事業所所在地	FAX
			入会年月日	年数	郵便番号	自宅住所	TEL
H	15	ヒキタ テツオ 疋田 哲夫	普通銀行		八千代銀行大和支店	支店長	261-3241
			昭 24.9.9	53	242-0016	大和市大和南1-4-4	☎ 264-0612
			平 14.4.25	1	228-0002	座間市小松原2-59-14	254-7897
I	16	イイダ トヨタ 飯田 豊太	不動産取引		(有)大和地所	代表取締役	263-8880
			昭 18.7.2	59	242-0013	大和市深見台4-11-2	☎ 263-3408
			昭 62.11.5	15	242-0013	大和市深見台4-11-2	263-3408
	17	イシダ タゲヨシ 石田 忠良	ガス機器エンジニア		(有)イシダ熱器	代表取締役	276-5321
			昭 12.6.3	66	242-0005	大和市西鶴間7-11-10	☎ 276-5428
			昭 62.4.23	16	242-0005	大和市西鶴間7-11-9	275-3740
	18	イシカワ ケンジ 石川 健次	中華料理		(株)北京飯店	代表取締役	261-7160
			昭 28.2.2	50	242-0021	大和市中央2-4-18	☎ 261-0127
			平 1.8.3	13	242-0021	大和市中央2-9-11	263-7470
	19	イトウ ヒデオ 伊藤 英夫	スーパーマーケット		(有)イトウ	代表取締役	263-3000
			昭 13.3.18	65	242-0005	大和市西鶴間4-7-5	☎ 263-5100
			昭 53.6.23	25	242-0005	大和市西鶴間4-7-5	263-5100
K	20	カミサク アキラ 神作 彰	物流代行業		石井運輸(株)	代表取締役	277-5656
			昭 19.3.6	59	242-0007	大和市中央林間1-5-6	☎ 277-5711
			昭 58.3.3	20	242-0007	大和市中央林間1-5-6	277-5656
	21	ククチ ミチトモ 菊地 康公	税理士		菊地康公税理士事務所	所長	273-0527
			昭 11.10.25	66	242-0007	大和市中央林間3-19-8	☎ 277-6620
			昭 57.8.26	20	228-0802	相模原市上鶴間2-19-19	042-766-5067
	22	キシ ユキヒロ 岸 幸博	住宅設備		岸木工(有)	代表取締役	261-4537
			昭 24.12.5	53	242-0017	大和市大和東3-2-13	☎ 264-7476
			平 5.3.4	10	242-0017	大和市大和東3-2-13	261-4537
	23	キタサゴ トミゾウ 北砂 富三	損害保険		(株)オーシャニック	代表取締役	042-746-1810
			昭 7.7.20	70	228-0814	相模原市南台3-18-1	☎ 042-748-9069
			昭 53.6.23	25	242-0006	大和市南林間5-2-16	274-1230
	24	クドウ トシハル 工藤 俊治	日本料理		旬庵	代表	271-1063
			昭 22.10.16	55	242-0006	大和市南林間1-7-17	☎ 271-1063
			平 14.3.7	1	194-0012	町田市金森584-6	042-726-6028
	25	コヤナギ トモヒロ 小柳 智裕	生命保険		(有)ワイブレイン	代表	262-5474
			昭 34.10.4	43	242-0005	大和市西鶴間5-1-25-210	☎ 262-5474
			平 14.3.7	1	242-0005	大和市西鶴間5-1-25-210	262-5474
26	コバヤシ イサム 小林 勇	履物販売		(有)桂屋商店	代表取締役会長	261-0329	
		昭 5.5.24	73	242-0016	大和市大和南1-3-4	☎ 261-0329	
		昭 59.9.6	18	242-0013	大和市深見台4-13-27	261-7298	
M	27	マエハラ カズオ 前原 一男	紳士服販売		(有)アローテラー	代表取締役	263-8239
			昭 16.9.28	61	242-0021	大和市中央1-2-5	☎ 263-8974
			昭 58.5.12	20	242-0024	大和市福田5-14-6	267-7066
	28	マキタ セイザブロウ 蒔田 誠三郎	印刷業		(有)アドタック	代表取締役	264-8337
			昭 15.8.23	62	242-0021	大和市中央7-16-18ダイメイビル1F	☎ 264-8274
			平 7.9.7	7	246-0015	横浜市瀬谷区本郷1-18-13	045-302-6219
	29	ミズオチ サトル 水落 悟	制御機器設計・製作		大和理研(株)	代表取締役	276-0490
			昭 21.7.1	57	242-0003	大和市林間2-21-5	☎ 275-1803
			平 14.10.3	※	242-0007	大和市中央林間1-15-18	293-6848

分類	番号	(フリガナ) 氏名	職業分類		事業所名		役職名	TEL	
			生年月日	年齢	郵便番号	事業所所在地			FAX
			入会年月日	年数	郵便番号	自宅住所			
M	30	マツモト タダアキ 松本 忠明	洋菓子製造販売		(有)チロル		代表取締役	261-6573	
			昭 10.7.28	67	242-0013	大和市大和南1-5-11	ⓕ 264-0022		
			昭 53.6.23	25	246-0035	横浜市瀬谷区下瀬谷3-28-1	045-301-5206		
	31	マツザキ マサミ 松崎 正実	獣医		つきみ野松崎動物病院		院長	275-4556	
			昭 25.1.4	53	242-0002	大和市つきみ野4-11-14	ⓕ 275-4556		
			昭 56.12.3	21	242-0002	大和市つきみ野4-11-14	275-4556		
	32	メグロ ユウスケ 目黒 雄介	自動車販売		(株)中央自動車販売		代表取締役	263-5865	
			昭 19.4.11	59	242-0026	大和市草柳3-22-1	ⓕ 263-2338		
			平 8.3.7	7	242-0026	大和市草柳2-25-12	264-0073		
	33	ムク シゲヒロ 椋 茂 廣	建築設計		(有)椋一級建築士事務所		代表取締役	042-742-1618	
			昭 22.2.25	56	228-0001	座間市相模ヶ丘2-31-38	ⓕ 042-749-3170		
			平 1.7.13	13	243-0431	海老名市上今泉5-32-8	046-233-1319		
34	マヤマ シンヤ 間山 進也	弁理士		(有)間山技術翻訳		取締役	277-0540		
		昭 33.9.8	44	242-0007	大和市中央林間3-4-4 サクライビル4階	ⓕ 278-0320			
		平 14.11.7	※	242-0006	大和市南林間5-3-22-211	278-5520			
N	ナガノ シュンノ 長野 俊八	自転車販売		サイクルセンターナガノ		店主	274-4439		
		昭 9.1.21	69	242-0006	大和市南林間1-19-11	ⓕ 275-1039			
		昭 57.9.9	20	242-0006	大和市南林間1-19-11	274-4439			
36	ナカニシ イサオ 中西 功	建築材料販売		(有)中西商店		代表取締役	274-4655		
		昭 20.2.7	58	242-0004	大和市鶴間2-14-5	ⓕ 274-4490			
		昭 53.8.17	24	242-0004	大和市鶴間2-14-5	274-9765			
S	37	サトウ ノブオ 佐藤 信夫	プラスチック加工業		(株)アベックスポリマー		代表取締役	260-2220	
			昭 19.10.21	58	242-0027	大和市上草柳6-6-21	ⓕ 260-2222		
			平 12.5.25	3	225-0029	横浜市青葉区すすき野1-6-60	045-909-5888		
	38	スズキキョウジロウ 鈴木 久次郎	酒類販売		(有)鈴木久		代表取締役	274-9232	
			昭 8.1.21	70	242-0006	大和市南林間6-11-15	ⓕ 272-0498		
			昭 53.12.7	24	242-0006	大和市南林間6-11-15	275-0214		
39	スズキ ヒロシ 鈴木 博 士	観光事業		パリュートラベルサービス		代表	272-3778		
		昭 26.1.18	52	242-0006	大和市南林間1-7-9 西口第3ビル3階	ⓕ 272-3776			
		平 11.5.6	4	242-0006	大和市南林間7-7-15	275-2840			
T	40	タカハシ キヨシ 高橋 清	貸倉庫		(有)文が岡商事		代表取締役	261-5775	
			昭 16.2.12	62	242-0028	大和市桜森3-15-6	ⓕ 261-5775		
			昭 62.7.23	15	242-0028	大和市桜森3-15-6	261-5775		
	41	タカハシ キヨシ 高橋 潔	ダンボール製造		マルマン紙業(株)		代表取締役	261-5555	
			昭 34.8.2	44	242-0027	大和市下草柳1170	ⓕ 263-3333		
			平 13.3.8	2	242-0005	大和市西鶴間6-15-7	273-1990		
	42	タカハシ マサカツ 高橋 政 勝	農園		(有)高橋		代表取締役	261-7685	
			昭 12.8.4	65	242-0029	大和市上草柳4-6-4	ⓕ 261-7685		
			昭 55.10.30	22	242-0029	大和市上草柳4-6-4	261-7685		
	43	タテモリ ミチアキ 館盛 道明	宗教		宗教法人曹洞宗定方寺		代表役員住職	274-0421	
			昭 21.8.30	56	242-0001	大和市下鶴間145	ⓕ 272-0757		
			平 10.12.3	4	242-0001	大和市下鶴間145	274-0421		
44	テラダ ゴロク 寺田 五 六	土木業		(株)寺田土木		代表取締役	261-1294		
		大 10.6.14	83	242-0029	大和市上草柳7-8-3	ⓕ 264-1426			
		再平13.9.13	1	242-0006	大和市西鶴間4-12-11	261-1297			

分類	番号	(フリガナ) 氏名	職業分類		事業所名	役職名	TEL
			生年月日	年齢	郵便番号	事業所所在地	FAX
			入会年月日	年数	郵便番号	自宅住所	TEL
U	45	ウエダ トシヒサ 上田 利久	小児科医		ウエダ小児科	院長	274-6240
			昭 4.1.23	74	242-0003	大和市林間2-17-6	㊦ 274-6240
			昭 53.6.23	25	242-0003	大和市林間2-17-6	275-1540
	46	ウメダ ヒデオ 梅田 秀雄	茶販売		(株)渡辺園	代表取締役	261-3744
			昭 19.1.19	59	242-0017	大和市大和東1-6-6	㊦ 263-2013
			昭 62.4.9	16	242-0011	大和市深見2244-1	262-6610
Y	47	ヤマザキ ケンジ 山崎 賢二	不動産管理		(有)山崎事務所	代表取締役	263-0328
			昭 21.12.18	56	242-0017	大和市大和東1-9-9	㊦ 264-0328
			平 6.1.6	9	242-0017	大和市大和東1-9-9	263-0328
	48	ヨダ ギイチ 依田 儀一	生コンクリート製造		(株)依田儀一商店	取締役会長	045-301-0552
			大 15.3.15	77	242-0025	大和市代官2-1-1	㊦ 045-301-0517
			平 4.11.12	10	246-0032	横浜市瀬谷区南台1-37-6	045-301-0552
	49	ヨコザワ ハジメ 横澤 創	総合建設業		ニッケン建設(株)	代表取締役	267-1191
			昭 25.3.5	53	242-0025	大和市代官1-14-1	㊦ 267-1105
			平 3.6.13	12	242-0014	大和市上和田3444-4	269-5399
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							

歴代会務分担表

□=役員・理事 エレクト=会長エレクト 職業=職業奉仕 社会=社会奉仕 国際=国際奉仕 新世=新世代奉仕(青少年) クラブ=クラブ奉仕 会報=クラブ会報
親睦=親睦活動 プログ=プログラム スマイル=スマイルボックス 組織=組織部門 選考=会員選考 増強=会員増強 分類=職業分類 情報=ロータリー
情報 環境=環境保全 財団=ロータリー財団 米山=米山奨学 ポリオ=ポリオプラス 職情=職業情報 世界=世界親睦理解 監査=会計監査 ☆=地区委員

◎委員長 ○副委員長 △委員

Table with columns for member name and date, and rows for years 78-79 to 03-04. Each cell contains a symbol and text representing their role in various committees and activities.

退 会 者 名 簿

(別表 (4))

No.	氏 名	入会年月日	退会年月日	現役逝去
1	坪井源二郎君		S53. 5. 18	
2	淡谷光彦君	S53. 6. 23	S53. 12. 21	
3	蜂屋良平君	S53. 6. 23	S58. 7. 14	
4	猪熊唯夫君	S53. 6. 23	H 5. 9. 25	○
5	亀谷志郎君	S53. 6. 23	H 2. 5. 10	
6	小菅兼三郎君	S53. 6. 23	S54. 3. 15	
7	宮之原寛一君	S53. 6. 23	S54. 6. 28	
8	小笠原一四君	S53. 6. 23	S54. 1. 11	
9	大高安男君	S53. 6. 23	S59. 12. 20	
10	佐藤実君	S53. 6. 23	S57. 6. 24	
11	須藤正道君	S53. 6. 23	S54. 5. 17	
12	寺田伍六君	S53. 6. 23	H11. 12. 18	
13	富澤重徳君	S53. 6. 23	H 9. 12. 20	
14	矢野久元君	S53. 6. 23	S54. 1. 23	○
15	長谷川清一君	S53. 6. 23	H15. 2. 6	○
16	土屋翁三君	S53. 6. 23	H13. 7. 5	
17	辻國明君	S53. 7. 27	H14. 7. 22	○
18	袴田和雄君	S53. 8. 10	S54. 10. 4	
19	近藤富士男君	S53. 12. 14	H14. 9. 2	○
20	石渡英二郎君	S54. 1. 18	H10. 5. 21	
21	木崎健祐君	S54. 2. 22	S55. 9. 11	
22	有澤昭二君	S54. 3. 22	H12. 6. 30	
23	山田旭君	S54. 4. 5	S57. 6. 30	
24	保田達君	S54. 4. 12	S57. 7. 29	
25	竹之内弘美君	S54. 4. 12	S59. 11. 1	
26	伊藤正男君	S54. 5. 10	S58. 6. 30	
27	布施光雄君	S54. 5. 10	H 7. 6. 26	
28	高山正雄君	S54. 10. 25	S55. 10. 9	
29	竹山健一君	S54. 12. 6	S57. 7. 24	
30	松本三郎君	S55. 7. 31	H 5. 6. 30	
31	伊藤宣男君	S55. 9. 11	S60. 12. 5	
32	合田良徳君	S55. 10. 2	S59. 3. 15	
33	細野順造君	S55. 10. 2	S61. 6. 26	

No.	氏 名	入会年月日	退会年月日	現役逝去
34	二見長幸君	S55.10.30	H8.6.27	
35	国方隆君	S55.11.6	S57.5.13	
36	池田武和君	S55.12.18	S58.6.30	
37	山中忠誠君	S55.12.18	S58.12.16	
38	三浦泰之君	S56.4.9	S62.5.28	
39	古田土勝美君	S56.6.18	H9.6.26	
40	福本国雄君	S56.11.19	S59.2.16	
41	杉山元次郎君	S57.6.24	S59.2.23	
42	上田勝君	S57.6.24	S59.6.28	
43	上村幹雄君	S57.7.15	H12.11.16	○
44	三国誠文君	S57.7.15	S57.10.14	
45	古川巖君	S57.8.26	H7.5.18	
46	原田穆君	S57.11.18	H2.9.27	
47	小島健一君	S57.11.18	H7.5.11	
48	金井大輔君	S58.3.31	S62.12.3	
49	種ヶ島実君	S58.4.7	S59.8.13	○
50	南川忠常君	S58.6.9	S60.4.4	
51	青木豊治君	S58.12.15	S59.5.14	
52	岡本重之君	S59.1.5	S61.6.26	
53	清水洋三君	S59.3.29	H4.6.30	
54	三浦泰三君	S59.7.12	S62.5.28	
55	木村誠二君	S59.9.6	H11.12.18	
56	児玉清君	S59.9.6	H10.5.7	
57	染谷信行君	S59.9.6	S61.1.16	
58	大西昭君	S60.2.28	S61.6.26	
59	岩田一夫君	S60.3.7	H5.6.30	
60	竹本正俊君	S60.3.7	S60.10.16	
61	渡辺吉三郎君	S60.3.7	S60.12.5	
62	加藤好秋君	S60.4.18	H1.4.20	
63	藤沢孝行君	S60.6.6	S60.8.22	
64	熊倉光男君	S60.7.4	S63.3.10	
65	飯島順一郎君	S60.10.24	S62.4.9	
66	千田徹君	S61.10.9	H1.9.7	
67	栗原宣明君	S62.6.18	H1.3.2	
68	茅根勉君	S62.8.13	H4.6.25	

No.	氏 名	入会年月日	退会年月日	現役逝去
69	本 田 博 司 君	S 62. 7. 9	H 13. 11. 30	
70	吉 岡 恒 夫 君	S 62. 10. 29	H 4. 7. 16	
71	佐 藤 正 勝 君	S 63. 3. 17	H 4. 4. 30	
72	千 葉 庄 平 君	S 63. 4. 7	H 2. 6. 7	
73	大 門 宏 光 君	S 63. 4. 7	H 2. 12. 13	
74	中 田 洲 平 君	S 63. 4. 7	S 63. 5. 19	
75	渡 井 和 郎 君	S 63. 4. 7	S 63. 10. 20	
76	佐 藤 公 男 君	S 63. 4. 21	H 3. 3. 14	
77	加 藤 真 義 君	H 1. 2. 23	H 11. 7. 22	
78	立 岡 英 一 君	H 1. 5. 11	H 2. 6. 28	
79	村 野 安 範 君	H 1. 5. 11	H 3. 6. 27	
80	柿 本 伊 佐 男 君	H 1. 9. 14	H 13. 6. 30	
81	薩 田 信 次 郎 君	H 1. 11. 9	H 14. 12. 31	
82	松 本 二 郎 君	H 1. 12. 14	H 2. 6. 28	
83	竹 原 繁 男 君	H 2. 6. 14	H 14. 6. 30	
84	星 輝 明 君	H 3. 6. 20	H 5. 6. 18	
85	中 島 繁 男 君	H 3. 9. 26	H 6. 6. 9	
86	迫 田 洋 一 郎 君	H 3. 12. 19	H 10. 6. 25	
87	山 下 精 一 君	H 3. 12. 19	H 6. 12. 29	
88	山 口 敏 彦 君	H 5. 6. 24	H 9. 6. 12	
89	望 月 英 男 君	H 5. 6. 24	H 8. 5. 28	
90	中 村 彰 君	H 6. 5. 12	H 11. 7. 22	
91	小 野 孝 男 君	H 7. 2. 9	H 13. 6. 30	
92	中 稻 隆 次 君	H 7. 5. 25	H 10. 6. 25	
93	牧 野 弘 君	H 7. 6. 15	H 14. 6. 30	
94	佐 藤 伴 道 君	H 8. 3. 21	H 10. 3. 12	
95	菅 井 正 博 君	H 8. 5. 2	H 10. 4. 9	
96	佐々木 万 次 郎 君	H 8. 7. 18	H 11. 12. 18	
97	村 松 令 隆 君	H 9. 2. 20	H 14. 11. 11	
98	阿 部 豪 一 君	H 9. 4. 3	H 13. 12. 27	
99	岡 部 明 君	H 10. 6. 11	H 13. 12. 27	
100	清 水 登 米 彦 君	H 10. 7. 2	H 11. 3. 30	
101	小 倉 弘 君	H 12. 5. 17	H 14. 3. 31	

大和中ロータリークラブ電話連絡網

上段：事業所
下段：FAX

(別表 (5))

会長 長野 (274) 4439 (275) 1039	副会長 古郡 (261) 5580 (261) 4572	中西	松本	高橋(清)	青柳	
		(274) 4655	(272) 5226	(261) 5775	(275) 0101	
		(274) 4490	(264) 0022	(261) 5775	(275) 2592	
		高橋(政)	小柳智裕	伊藤	蒲生	古郡
		(251) 4220	(262) 5474	(263) 3000	(261) 5551	(261) 5580
		(261) 8736	(262) 5474	(261) 3667	(261) 5552	(261) 4572
		石田	後藤	疋田		
		(276) 5321	(251) 6100	(261) 3241		
		(276) 5428	(229) 3659	(264) 0612		
		事務局 (262) 1717 (262) 1818	会長エレクト 菊地 (273) 0527 (277) 6620	番	前原	鈴木(久)
(261) 7380	(263) 8239			(274) 9232	(262) 9201	
(261) 8977	(263) 8974			(272) 0498	(262) 5422	
北砂	芦田			椋	高橋(潔)	菊地
042(748) 9066	(274) 0906			042(742) 1618	(261) 5555	(273) 0527
042(748) 9069	(274) 0906			042(749) 3170	(263) 3333	(277) 6620
飯田	岸			山崎	水落	
(263) 8880	(261) 4537			(263) 0328	(276) 0490	
(263) 3408	(264) 7476			(264) 0328	(275) 1803	
副幹事 館盛 (274) 0421 (272) 0757	幹事 蒔田 (264) 8337 (264) 8274			横澤	依田	佐藤
		(267) 1191	045(301) 0552	(260) 2220		
		(267) 1105	045(301) 0517	(260) 2222		
		神作	橋本(健)	梅田		館盛
		(277) 5656	(239) 0188	(261) 3744		(274) 0421
		(277) 5711	(239) 0183	(263) 2013		(272) 0757
		藤塚	工藤俊治	寺田五六	間山	
		(263) 7323	(271) 1063	(261) 1294	(277) 0540	
		(264) 6943	(271) 1063	(264) 1426	(278) 0320	
		幹事 蒔田 (264) 8337 (264) 8274	幹事 蒔田 (264) 8337 (264) 8274	上田	松崎	長谷川清
(274) 6240	(275) 4556			0465(47) 3615	(261) 7160	
(274) 6240	(275) 4556			0465(49) 0326	(261) 0127	
目黒	古木			鈴木(博)		蒔田
(263) 5865	(276) 0801			(272) 3778		(264) 8337
(263) 2338	(276) 0288			(272) 3776		(264) 8274
藤田	郡司			橋本(日)	小林	
(274) 3931	(261) 7337			(276) 5828	(261) 0329	
(275) 5294	045(753) 0750			(276) 5964	(261) 0329	

[注]

1. 番号を確かめて、正確、迅速に伝えて下さい。
2. 次の人が不在の時にはその次の人まで連絡するようにして下さい。
3. 最後の人は連絡受領の報告を各自の最初の人に受けた内容も含めて連絡して下さい。
4. 番号は上段が事業所、下段がFAXです。自宅の電話番号は会員名簿を参照して下さい。
5. 緊急連絡事項は必ずクラブ幹事迄ご連絡下さい。

クラブ運営規程集

大和中ロータリークラブ定款
大和中ロータリークラブ細則
大和中ロータリークラブ内規

大和中ロータリークラブ

2003年7月1日現在

大和中ロータリークラブ定款

第1条 定義

本条の語句は、本定款で使われる場合、他に明確に規定されない限り、次の意味をもつものとする。

1. 理事会：本クラブの理事
2. 細 則：本クラブの細則
3. 理 事：本クラブの理事会メンバー
4. 会 員：名誉会員以外の本クラブ会員
5. R I：国際ロータリー
6. 年 度：7月1日に始まる12カ月間

第2条 名称

本会の名称は、大和中ロータリークラブとする。(国際ロータリー加盟会員)

第3条 クラブの所在地域

本クラブの所在地域は、次の通りとする：大和市

《但し第4条綱領以下は、「標準ロータリークラブ定款」によるものとする。》
(2001年版手続要覧)

附 則

1. 本定款は、昭和53年5月9日から適用する。

大和中ロータリークラブ細則

第1条 役員、理事および会計監査の選挙

第1節 選挙

役員、理事および会計監査を選挙すべき会合の1カ月前の例会において、その議長たる役員は会員に対して、会長（次次年度）、副会長、会計ならびに5人の理事および2名の会計監査を指名することを求めなければならない。その指名は、次に定めるところに従って指名委員会によって行うものとする。適法に行われた指名は各役職ごとに年次総会において投票に付せられるものとする。投票の過半数を獲得した会長（次次年度）、副会長および会計がそれぞれ該当する役職に当選したものと宣言されるものとする。投票の過半数を得た5名の理事候補が理事に当選したものと宣言されるものとする。投票の過半数を得た2名の会計監査候補が会計監査に当選したものと宣言されるものとする。前記の投票によって選挙された会長（次次年度）および副幹事は、その選挙のあと、7月1日に始まる年度に、会長エレクトおよび副幹事として理事会のメンバーを務め、会長エレクトおよび副幹事として理事会のメンバーを務めた年度直後の7月1日に、会長および幹事に就任するものとする。

指名委員会は、直前会長よりさかのぼり5名のパスト会長および会長、会長エレクト、幹事、副幹事の9名をもって構成されるものとする。議長は会長が務め、定足数は過半数とし、また選出の方法は合議制とし、意見が一致しない場合は無記名多数決制とする。会長（次次年度）および副会長候補者は、役員および理事の経歴を有する者の中から選出し、その他の役員、理事および会計監査候補者は、指名の時点で2年以上のロータリー歴を有する者の中から選出する。

第2節 会場監督の選出

選挙された役員および理事をもって理事会を構成するものとする。選挙によって決定した次年度理事会は、1週間以内に会合してクラブ会員の中から会場監督を務めるものを選任しなければならない。

第3節 理事会等の欠員の補填

理事会またはその他の役職に生じた欠員は残りの理事会の構成メンバーの決定によって補填すべきものとする。

第4節 役員エレクト等の欠員の補填

役員エレクトまたは理事エレクトの地位に生じた欠員は残りの被選理事会の構成メンバーの決定によって補填すべきものとする。

第2条 理事会

本クラブの管理主体は本クラブの会員11名より成る理事会とする。すなわち本細則第1条第1節に基づいて選挙された5名の理事、会長、副会長、会長エレクト、幹事、会計および会場監督である。なお理事は、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕および副幹事のいずれかの任務を担当しなければならない。

第3条 役員等の任務

第1節 会長

本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって会長の任務とする。

第2節 会長エレクト

会長エレクトは理事会のメンバーとしての任務およびその他会長または理事会によって定められる任務を行うものとする。

第3節 副会長

副会長はクラブ奉仕委員会委員長を務めるとともに、会長不在の場合は本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副会長の任務とする。

第4節 幹事

幹事の任務は、会員の記録を整理保管し、会合における出席を記録し、クラブ、理事会および委員会の諸会合の通知を発送し、これらの会合の議事録をつくってこれを保管し、毎年1月1日および7月1日現在をもってR I事務総長に対して行わなければならない半期会員報告、半期報告を提出した7月1日または1月1日よりも後にクラブ会員に選ばれた正会員について10月1日と4月1日に事務総長に提出する四半期会員報告、R I事務総長に対して行うべき会員資格変更報告、毎月の最終例会の直後15日以内に地区ガバナーに対して行わなければならないクラブ例会の月次出席報告を含む、諸種の義務報告をR Iに対して行い、ロータリアン誌の購読料を徴収してこれをR Iに送金し、その他通常その職に付随する任務を行うにある。

第5節 会計

会計の任務は、すべての資金を管理保管し、毎年1回およびその他理事会の要求あるごとにその説明を行い、その他通常その職に付随する任務を行うにある。その職を去るに当たっては会計はその保管するすべての資金、計算帳簿、その他あらゆるクラブ財産を、その後任者または会長に引き継がなければならない。

第6節 会場監督

会場監督の任務は通常その職に付随する任務、およびその他会長または理事会によって定められる任務とする。

第7節 副幹事

副幹事は会長エレクトを補佐し、幹事不在の場合は本クラブの会合および理事会の会合において代理を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副幹事の任務とする。

第4条 会合

第1節 年次総会

本クラブの年次総会は毎年12月第1週の例会に開催されるものとする。そしてこの年次総会において次年度の役員および理事の選挙を行わなければならない。

第2節 例会

本クラブの毎週の例会は木曜日12:30時に開催するものとする。例会に関するあらゆる変更または例会の取り消しはすべてクラブの会員全部にしかるべく通告されなければならない。本クラブの瑕疵なき会員はすべて、名誉会員（または標準ロータリー・クラブ定款第8条第2節（b）の規定に基づき、本クラブ理事会によって出席を免除された会員）を除き、例会の当日、その出席又は欠席が記録され、その出席は、本クラブ又は他のロータリー・クラブにおいて、その例会に充当された時間の少なくとも60パーセント出席していたことが実証されるか、もしくは標準ロータリークラブ定款第8条第1節の別段の規程によるものでなければならない。

第3節 年次総会等の定足数

会員総数の3分の1をもって本クラブの年次総会および例会の定足数とする。

第4節 理事会開催日

定例理事会は毎月1回、当該年度理事会の決定により定められた例会後に開催されるものとする。臨時理事会は会長がその必要ありと認めたとき、または理事会のメンバー2名の要求あるとき、会長によって召集されるものとする。但しその場合しかるべき予告が行われなければならない。

第5節 理事会の定足数

理事会のメンバーの過半数をもって理事会の定足数とする。

第5条 入会金および会費

第1節 入会金

入会金は100,000円とし、入会承認に先んじ納入すべきものとする。但し、R I 定款第5条第2節(a) (ii) に該当する者で前任者が当クラブの正会員であった場合と、クラブ定款第6条第4節に従い、本クラブの会員として受け入れられた、移籍する会員あるいは他クラブに属していた元会員は、入会金の納入を要しないものとする。

第2節 会費

会費は年額250,000円とし、各半年ごとの各支払額のうち米貨6ドルは各会員のロータリアン誌の購読料に充当するという諒解の下に、毎年2回7月1日および1月1日に納入すべきものとする。

第3節 途中入退会等の会費

途中入退会の会費については月割りとし、退会の場合は返還をしないものとする。また、会費納入に関し、特別な事情が生じた場合には、理事会において決定するものとする。

第6条 採決の方法

本クラブの議事は、役員および理事等を投票によって選挙する場合を除き、口頭による採決をもって処理されるものとする。

第7条 委員会

第1節 常任委員会の設置

(a)会長は理事会の承認の下に次の常任委員会を設置しなければならない。

クラブ奉仕委員会

職業奉仕委員会

社会奉仕委員会

国際奉仕委員会

新世代奉仕委員会

(b)会長はまた、理事会の承認の下、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕および新世代奉仕について、必要と考える特定分野を担当する委員会を設置するものとする。

- (c)クラブ奉仕委員会を統轄する副会長を除き、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会および新世代奉仕委員会は、それぞれ会長が理事の中から任命する委員長および少なくとも2名以上の他の委員から成るものとする。
- (d)会長は、職権上すべての委員会の委員となるものとし、その資格において委員会に付随するあらゆる特典をもつものとする。
- (e)各委員会は本細則によって付託された職務およびさらにこれに加えて会長または理事会が付託する事項を処理すべきものとする。理事会によって特別の権限を与えられた場合を除き、これらの委員会は、理事会に報告してその承認を得るまでは行動してはならない。

第2節 クラブ奉仕委員会

- (a)クラブ奉仕委員会委員長は、クラブ奉仕の諸活動全部に対して責任をもち、かつクラブ奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務を持つものとする。
- (b)クラブ奉仕委員会は、クラブ奉仕委員会委員長とクラブ奉仕の特定の分野を担当するすべての委員会の委員長によって構成されるものとする。
- (c)会長は理事会の承認の下にクラブ奉仕の中の特定分野を担当する次の各委員会を設置するものとする。

出席委員会

クラブ会報委員会

親睦活動委員会

雑誌委員会

プログラム委員会

広報委員会

スマイルボックス委員会

会員選考委員会

会員増強委員会

次の委員会に毎年1名ずつの委員を任命するものとする。

職業分類委員会

ロータリー情報委員会

- (d)会長は、会長エレクトに命じ、会員選考、会員増強、職業分類、ロータリー情報委員会の仕事を監督、調整させるものとする。
- (e)クラブ諸委員会の設置について、可能かつ实际的である限り、1名または数名の委員を再任するかまたは1名または数名の委員を2カ年の任期をもって任命することにより委員会に継続性をもたせる規定を設けるべきものとする。

- (f)職業分類委員会およびロータリー情報委員会は、各々3名の委員をもって構成されるものとし、それぞれ毎年1名の委員を3年の任期をもって任命するものとする。本規定に基づく最初の任命は次のごとく行うものとする。1名は1年、1名は2年、1名は3年の任期をもって、それぞれ任命する。

第3節 職業奉仕委員会

- (a)職業奉仕委員会委員長は、職業奉仕の諸活動の全部に対して責任をもち、かつ職業奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。
- (b)職業奉仕委員会は、職業奉仕委員会の委員長と職業奉仕の特定分野を担当するすべての委員会の委員長と他の委員によって構成されるものとする。
- (c)会長は理事会の承認を受け、職業奉仕の特定分野について次の委員会を設置することができる。

職業情報委員会

職業指導委員会

就職相談委員会

第4節 社会奉仕委員会

- (a)社会奉仕委員会委員長は、社会奉仕の諸活動の全部に対して責任をもち、かつ社会奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。
- (b)社会奉仕委員会は、社会奉仕委員会の委員長と社会奉仕の特定分野を担当するすべての委員会の委員長と他の委員によって構成されるものとする。
- (c)会長は理事会の承認を受け、社会奉仕の特定分野について次の委員会を設置することができる。

人間尊重委員会

地域発展委員会

環境保全委員会

協同奉仕委員会

第5節 国際奉仕委員会

- (a)国際奉仕委員会委員長は、国際奉仕の諸活動の全部に対して責任をもち、かつ国際奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。
- (b)国際奉仕委員会は、国際奉仕委員会の委員長と国際奉仕の特定分野を担当するすべての委員会の委員長と他の委員によって構成されるものとする。
- (c)会長は理事会の承認を受け、国際奉仕の特定分野について次の委員会を設置

することができる。

世界社会奉仕委員会

ロータリー財団委員会

米山奨学委員会

第6節 新世代奉仕委員会

(a)新世代奉仕委員会委員長は、新世代奉仕の諸活動の全部に対して責任をもち、かつ新世代奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。

(b)新世代奉仕委員会は、新世代奉仕委員会の委員長と新世代奉仕の特定分野を担当するすべての委員会の委員長によって構成されるものとする。

(c)会長は理事会の承認を受け、新世代奉仕の特定分野について次の委員会を設置することができる。

青少年交換委員会

ローターアクト委員会

インターアクト委員会

第8条 委員会の任務

第1節 クラブ奉仕委員会

この委員会は、本クラブの会員が、クラブ奉仕に関する事柄においてその諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。クラブ奉仕委員会委員長は委員会の定例会合に責任をもち、クラブ奉仕の全活動について理事会に報告するものとする。

(a)**出席委員会**。この委員会は、すべてのクラブ会員があらゆるロータリーの会合に出席すること——これには、地区大会、都市連合会、地域大会および国際大会への出席も含まれる——を奨励する方法を考案するものとする。この委員会は特に本クラブの例会への出席と、本クラブの例会に出席できない場合の他クラブ例会への出席とを奨励し、全会員に出席規定を周知せしめ、出席を良くするためのよりよき奨励策を講じ、そして出席不良の原因となる諸事情を確かめてこれを除去することに努めるものとする。

(b)**クラブ会報委員会**。この委員会は、クラブ週報の刊行によって、関心を促して出席の向上を図り、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を報告し、親睦を増進し、全会員のロータリー教育に寄与し、クラブ、会員、および世界各地のロータリー・プログラムに関するニュースを伝えるべく努めなければならない。

- (c)親睦活動委員会。この委員会は、会員間の知り合いと友誼を増進し、用意されたロータリーのレクリエーションおよび社交的諸活動への参加を会員に奨励し、本クラブの一般目的の遂行上会長または理事会が課する任務を果たすものとする。
- (d)雑誌委員会。この委員会は、ロータリアン誌に対する読者の関心を喚起し、雑誌月間を主催し、クラブの例会プログラムにおいて毎月雑誌の簡単な紹介を手配し、新会員の教化に雑誌を利用することを奨励し、ロータリアンでない講演者に雑誌を贈呈し、図書館、病院、学校、その他の図書閲覧室のために国際奉仕ならびにその他の特別購読を取り計らい、ニュース資料と写真を雑誌編集者に送り、その他あらゆる方法によって雑誌を本クラブ会員およびロータリアン以外の人々に役立てるものとする。
- (e)プログラム委員会。この委員会は、本クラブの例会および臨時の会合のためのプログラムを準備し、手配しなければならない。
- (f)広報委員会。この委員会は、(1) 広く一般世間に、ロータリー、その歴史、綱領および規模に関する情報を提供し、そして(2) 本クラブのために適切な宣伝を行う方策を考案しこれを実施するものとする。
- (g)スマイルボックス委員会。この委員会は、会員の慶事、記念すべき事項およびその他の事項を紹介し、奉仕のための寄付行為を奨励するものとする。
- (h)会員選考委員会。この委員会は、会員に推薦されたすべての者を個人的な面から検討して、その人格、職業上および社会的地位ならびに一般的な適格性を徹底的に調査しなければならない。そしてすべての申し込みに対する委員会の決定を理事会に報告しなければならない。
- (i)会員増強委員会。この委員会は、絶えず本クラブの充填未充填職業分類表を検討し、未充填の職業分類を充填するために適当な人物の氏名を理事会に推薦するよう積極的に努めなければならない。
- (j)職業分類委員会。この委員会は、毎年できるだけ早く、遅くとも8月31日以前にその地域社会の職業分類調査を行わなければならない。その調査から、職業分類の原則を適用し、充填未充填職業分類表を作成しなければならない。必要な場合は本クラブの現会員のもっている職業分類を再検討しなければならない。そして、あらゆる職業分類の問題について理事会と協議しなければならない。
- (k)ロータリー情報委員会。この委員会は、会員候補者にロータリー・クラブ会員の特典と責務に関する情報を提供し、会員にあらゆるレベルのロータリーの歴史、綱領、活動に関する情報を提供し、入会してから最初の1年間新会

員のオリエンテーションを監督するものとする。

第2節 職業奉仕委員会

この委員会は、本クラブの会員が、その職業関係における諸責務を遂行し、各会員それぞれの職業における慣行の一般水準を引き上げるうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。

- (a)職業情報委員会。この委員会は、さまざまな職業に対する会員の知識と理解を深めるプロジェクトやプログラムを開発すること。
- (b)職業指導委員会。この委員会は、地域社会や職場で「職業宣言」に対する会員の理解を深め、高度の道徳的水準の実施と推進を奨励すること。
- (c)就職相談委員会。この委員会は新世代の職業選択を援助するため、会員の経験を活かすプロジェクトを開発すること。

第3節 社会奉仕委員会

この委員会は、本クラブの会員が、その地域社会に対する諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。

- (a)人間尊重委員会。この委員会は、援助を必要とする人々に力を貸し、支援することによって、すべての人が生涯にわたり幸福に暮らせるように心を配るものとする。
- (b)地域発展委員会。この委員会は、地域とその諸施設の現状を改善することによって住みやすい場所を築くよう心を配るものとする。
- (c)環境保全委員会。この委員会は、地域の環境の質を調査、改善するよう心を配るものとする。
- (d)協同奉仕委員会。この委員会は、地域内のロータリー提唱の団体との関係を強化し、その奉仕活動に協力することに心を配るものとする。

第4節 国際奉仕委員会

この委員会は、本クラブの会員が、国際奉仕に関する事柄においてその諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。

- (a)世界社会奉仕委員会。この委員会は、国際理解と親善を推進するために、世界の人々の生活を改善し、ニーズに応える物質的、技術的、専門的援助プロジェクトを奨励するような方策を考案しこれを実施するものとする。
- (b)ロータリー財団委員会。この委員会は、会員にロータリー財団に対する理解を深め、支援を促進せしめ、その計画に協力することを奨励するような方策を考案しこれを実施するものとする。

- (c)米山奨学委員会。この委員会は、会員に米山記念奨学会に対する理解を深め、支援を促進せしめ、その計画に協力することを奨励するような方策を考案しこれを実施するものとする。

第5節 新世代奉仕委員会

この委員会は、本クラブの会員が、新世代に対する諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。

- (a)青少年交換委員会。この委員会は、青少年が世界平和推進のための国際理解と親善という目的を達成することができるように協力すること。
- (b)ローターアクト委員会。この委員会は、青少年の成長を助ける知識や技術を高めさせ、友情と奉仕を通して世界中の人々との間の親善を推進するための機会を提供する活動に協力すること。
- (c)インターアクト委員会。この委員会は、青少年に奉仕と国際理解に貢献する世界友好精神の中で共に活動する機会を与えるために協力すること。

第9条 出席義務規定の免除

理事会に対して書面をもって、正当かつ十分な理由を具して申請することによって、会員は出席義務規定の免除が与えられ、一定期間を限り本クラブの例会出席を免除される。

第10条 財務

第1節 資金の預金

会計は本クラブの資金をすべて理事会によって指定される銀行に預金しなければならない。

第2節 支払方法および会計監査

すべての勘定書は役員2名の署名する伝票に基づき支払われるものとする。本クラブのすべての会計事務については毎年1回全面的な監査が行われなければならない。

第3節 資金の安全保管義務

資金を預りあるいはこれを取り扱う役員は、本クラブの資金の安全保管に務めなければならない。

第4節 会計年度

本クラブの会計年度は7月1日より6月30日に至る期間とし、会費徴収の目的のために、これを7月1日より12月31日に至る期間および1月1日より6月30日に至る期間の二半期に分けるものとする。R Iに対する人頭分担金と雑誌

購読料の支払は、毎年7月1日および1月1日に、それぞれ当日の本クラブ会員数に基づいて行われるものとする。

第5節 予算作成および支出

各会計年度の初めに理事会はその年度の収支の予算を作成し、または作成せしめなければならない。その予算は、理事会によって承認された後、各費目ごとに支出の限度となるものとする。但し、理事会の議決によって別段の指示がなされた場合はこの限りでない。

第11条 会員選挙の方法（すべての会員身分について）

第1節 推薦方法

本クラブの正会員によって推薦された会員候補者の氏名は、書面をもって、本クラブ幹事を通じ、理事会に提出されるものとする。この推薦は、本条に別な定めのある場合を除き、事前に漏らしてはならない。

第2節 理事会の確認

理事会は、その被推薦者がクラブ定款の職業分類と会員資格の条件をすべて満たしていることを確認するものとする。

第3節 理事会の審議

理事会は、推薦状の提出後30日以内にその承認または不承認を決定し、これをクラブ幹事を通じて、推薦者に通知しなければならない。

第4節 入会申込

理事会の決定が肯定的であった場合は、被推薦者に対し、ロータリーの目的および会員の特典と義務について説明しなければならない。この説明の後、被推薦者に対し、会員申込用紙に署名を求め、また、本人の氏名および本人に予定されている職業分類をクラブに発表することについて承諾を求めなければならない。

第5節 決定

被推薦者についての発表後7日以内に、理事会がクラブ会員（名誉会員を除く）の誰からも、推薦に対し、理由を付記した書面による異議の申し立てを受理しなかった場合は、その人は、名誉会員でないか本細則第5条1節但し書きに該当するものでないなら、本細則に定める入会金を納めることにより、会員に選ばれたものとみなされる。

理事会に対し異議の申し立てがあった場合は、理事会は、次の理事会会合において、この件について票決を行うものとする。異議の申し立てがあったにも

かかわらず、入会が承認された場合は、被推薦者は、名誉会員でないか本細則第5条1節但し書きに該当するものでないなら、所定の入会金を納めることにより、クラブ会員に選ばれたものとみなされる。

第6節 新会員入会式

このような選挙後に、クラブ会長は、当該会員の入会式を行い、クラブ幹事は当該会員に対して会員証を発行し、新会員をR Iに報告しなければならない。ロータリー情報委員会は、入会式で新会員に贈呈する適切な資料を提供し、当該会員がクラブに溶け込めるよう援助することを担当する会員を1名指名するものとする。

第12条 決議

事のいかんを問わず本クラブを拘束する決議または提案は、理事会によって審議された後でなければ本クラブによって審議されてはならない。もしかかる決議または提案がクラブの会合で提起されたならば、討議に付することなく理事会に付託しなければならない。

第13条 議事の順序

開会宣言
来訪ロータリアンの紹介
来信および告示事項
委員会報告（もしあれば）
審議未終了議事
新規議事
スピーチその他のプログラム
閉会

第14条 改正

本細則は、定足数の出席する任意の例会において、出席会員の3分の2の賛成投票によって改正することができる。但し、かかる改正案の予告は当該例会の少なくとも10日前に各会員に郵送または配布されていなければならない。クラブ定款およびR Iの定款、細則と背馳するとき改正または条項追加を本細則に対して行うことはできない。

附則

本細則は、昭和53年5月9日から適用する。

本細則は、昭和54年7月1日から一部改正する。

本細則は、昭和57年7月1日から一部改正する。

本細則は、昭和63年7月1日から一部改正する。

本細則は、平成2年7月1日から一部改正する。

本細則は、平成4年7月1日から一部改正する。

本細則は、平成5年5月12日から一部改正する。

本細則は、平成10年7月1日から一部改正する。

本細則は、平成11年7月1日から一部改正する。

本細則は、平成12年5月11日から一部改正する。

本細則は、平成12年6月15日から一部改正する。

本細則は、平成14年7月1日から一部改正する。

大和中ロータリークラブ内規

当クラブの運営を円滑にするため本内規を設ける。

第1項 役員、理事および会計監査の選挙

- (1)大和中ロータリークラブ細則（以下細則という）第1条の役員、理事および会計監査の選挙にあたっては、会長は、毎年11月の第1例会において、役員、理事および会計監査候補者を指名する指名委員会を設置することを会員に告知し、これを招集し議長を務めるものとする。
- (2)指名委員会は選出を終えた役員、理事および会計監査候補者を、毎年11月の最終例会において公表する。
- (3)指名委員会は役員および理事候補者の選出にあたり次の事項に留意するものとする。
 - (イ) 人事の公平と負担の平等とを図るため、役員および理事の任期は継続して3年以上にわたらないよう配慮する。
 - (ロ) 始めに会長（次次年度）候補者を選出し、副幹事の選出にあたっては、会長（次次年度）候補者の意見を尊重する。
- (4)会長（次年度）は、細則第1条第2節の会場監督選出後の最初の例会において、選挙で当選した役員、理事、会計監査のそれぞれの担当役職を、会員に公表するものとする。
- (5)細則第1条第2節の会場監督の選出にあたっては、内規第1項(3)の（イ）の指名委員会の留意事項を準用するとともに、候補者には会長または幹事の経験者が望ましい。

第2項 委員会等の構成

次期理事会は、次年度の開始される3ヶ月前までに各種委員会の編成を終了させ、ソングリーダーの選出も図るものとする。

第3項 任務代行の順序

例会等クラブの運営上で担当者が欠席または不都合により任務の遂行が出来ない場合、原則として副委員長、委員の順序、または直前年度の担当者から順次さかの

ぼる順序で代行者を定めるものとする。

第4項 クラブ協議会の出席

本クラブにおけるクラブ協議会は、委員長のみにとどまらず原則として会員全員が出席するものとする。

第5項 新会員の所属委員会および会合出席義務

新会員の所属する委員会は理事会で決定する。新会員は各委員会が開く会合および勉強会等に積極的に出席することとする。

第6項 諮問委員会

- (1)本クラブに会長および歴代会長をもって構成する諮問委員会を置く。
- (2)諮問委員会の委員長は会長が務め、任期は1年とする。
- (3)諮問委員会は、理事会の諮問に対し答申を行うものとする。
- (4)理事会は、上記答申を尊重しなければならないが、必ずしも拘束されるものではない。

第7項 事務局の出張旅費等

事務局員がクラブ業務のために出張するときは、旅費等の実費をクラブが負担し支給する。

第8項 各種記念品または金一封

- (1)クラブの依頼したゲストスピーカーに対しては、謝礼として記念品又は金一封を車代として贈る。
 - (イ) 記念品…………… 5,000円相当
 - (ロ) 金一封……………10,000円
 - (ハ) 特別の場合は理事会で決定するものとする。
- (2)直前会長及び直前幹事となった時点において次のものを贈る。
 - (イ) 直前会長にダイヤ入りバッチ
 - (ロ) 直前幹事にルビー入りバッチ

第9項 慶弔規定

- (1)慶事の場合の祝金等は次の区分とする。
 - (イ) 会員およびその実子の結婚

- クラブより…20,000円
- (ロ) 会員実子誕生
クラブより…20,000円
- (ハ) 会員の新規営業所、社屋、工場、店舗等の新築、開設
クラブより…10,000円または花環かそれに代わる記念品
- (ニ) 会員の自宅新築
クラブより…10,000円またはそれに代わる記念品
- (ホ) 会員が国の機関から功労表彰を受けたとき
クラブより…記念品 (5,000円相当)
- (ヘ) その他理事会が必要と認めたときは適宜決定する。
- (2) 弔事の場合の弔慰金等は次の区分とし、会長は速やかにFAXで、全会員に連絡するものとする。
- (イ) 会員死亡の場合
クラブより花環一基、弔電および会員1人拠金10,000円
- (ロ) 会員の配偶者死亡の場合
クラブより 花環、弔電および会員1人拠金 5,000円
- (ハ) 会員の第一親等血族死亡の場合
クラブより 花環、弔電および会員1人拠金 2,000円
- (ニ) 会員の同居第一親等の姻族死亡の場合
クラブより 花環、弔電および会員1人拠金 1,000円
- (ホ) その他理事会が必要と認めたとき
クラブより 花環または弔電
- (3) 傷病または被災の場合の見舞金等は次の区分とする。
- (イ) 会員および配偶者が傷病により1ヶ月以上欠席または入院のとき、
クラブより…10,000円
- (ロ) 火災等での被災のとき
自宅または事業所 クラブより…30,000円
- (ハ) その他理事会が必要と認めたときは適宜決定する。
- (4) 退会者の扱いを含め上記以外で必要と思われるときは、その都度理事会において決定する。
- (5) 上記慶弔見舞金などに対する返礼は一切行わないこととする。

第10項 表彰

本クラブは、理事会が必要と認めたときは、クラブに功績のあった会員にたいし

て表彰することができるものとする。

第11項 出席表彰規定

- (1)本クラブ入会后1年またはそれ以上の皆出席者には次のとおり表彰を行う。
欠席した場合は、該当例会月を除き翌月より積算した年数によって行う。
- (2)出席表彰は次の年数毎に行う。
 - 1年 スナップ止出席バッチ (9K)
 - 3年 スナップ止出席バッチ (14K)
 - 5年 金色ネクタイ止
 - 7年 カフスポタン
 - 10年 ダイヤ入出席バッチ以後は5年毎とし、10,000円相当の記念品。
- (3)上記記念品等については出席委員会で検討し、理事会に図り、決定する。

第12項 内規の改廃

本内規の改廃は、定足数を満たす理事会の3分の2以上の賛成のもとに改廃することができる。

昭和53年8月10日	制定
昭和57年8月12日	一部改正
昭和61年5月8日	一部改正
昭和63年11月17日	一部改正
平成2年1月1日	一部改正
平成7年2月9日	一部改正
平成8年5月23日	一部改正
平成10年7月1日	一部改正
平成12年6月15日	一部改正
平成14年7月1日	一部改正
平成15年6月12日	一部改正